

大阪大学総合学術博物館 The Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館

年報 2023

はじめに

皆さん、こんにちは。昨年度(2023年度)に永田靖前館長より大阪大学総合学術博物館長を引き継がせていただきました河原源太です。総合学術博物館長を仰せつかってから未だ一年余りであり、まだまだ至らぬ点が多々あることと存じますが、社会に向けて大学を開く「窓」、さらには社会と大学との連携のための「結節点」として、本学が推進する社会との共創活動の一翼を担うべく、微力を尽くす所存です。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

さて、昨年度(2023年度)の博物館の活動概要『大阪大学総合学術博物館年報2023』をここに刊行し、ご報告申し上げます。昨年度は、新型コロナウイルスの感染が収まり、コロナ禍前に実施していた対面での諸活動を本格的に再開できた年度でした。コロナ禍での本博物館の諸活動にご協力下さった関係者の皆様、ならびに対面での諸活動再開にご支援を賜りました学内外の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

昨年度には本博物館の常設展に加え、3回の展覧会を対面にて開催し、多くの方々にご来館いただきました。2023年6月、7月には、本学大学院人文学研究科、本学附属図書館等と連携して、第24回企画展「石濵純太郎展 – なにわ町人学者の東洋学」を開催しました。この企画展では、大正から昭和戦後期にかけて活躍した、大阪が生んだ東洋学者である石濵純太郎を取り上げました。石濵純太郎は、大阪外国語学校、大阪高等学校で学び教え、重建懐徳堂を活動の場にするなど、本学と縁が深い学者です。また、2023年10月、11月には、本学中之島芸術センター、豊中市等の協力を得て、第18回特別展「豊中市所蔵京・大坂日本絵画の精華 – 花鳥画の名品から俳画の珍品まで」を開催し、豊中市が所蔵する月岡雪鼎、呉春と言った近世の著名画家の日本絵画等を展示しました。さらに、2023年10月から2024年2月には、本学中之島芸術センター等と連携して、第25回企画展「ちんどん屋ー宣伝・広報に生きるハブ芸能」を開催しました。この展覧会では、様々な時代や種類の芸を交わらせ、繋ぐ、ハブ的な芸能と言えるちんどん屋の歴史や芸能、交流やコミュニケーション方法などを紹介しました。

昨年度から、社会に開かれた大学としてより総合的、全学的に共創事業を展開するため、 大阪大学ミュージアム・リンクスを創設し、本学の社学連携を推進する総合学術博物館、 適塾記念センター、アーカイブズの3組織の専任教員がミュージアム・リンクスに結集し ました。今後、このミュージアム・リンクスに集う、幅広い専門領域をカバーするメンバー とともに、博物館としてこれまでにない新たな取組にも挑戦して参りたいと存じます。ど うか今まで以上のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

> 2025年2月 大阪大学総合学術博物館長 河原 源太

目 次

1.	展覧会報告 I	··· 5
	大阪大学総合学術博物館第 24 回企画展 石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学	
	・概要	6
	・報告 (大阪大学大学院人文学研究科 教授 堤 一昭)	9
2.	展覧会報告Ⅱ	15
	大阪大学総合学術博物館第 25 回企画展 「ちんどん屋―宣伝・広告に活きるハブ(集積/中継/交流)芸能―」	
	· 概要 ······	16
	・報告(大阪大学大学院人文学研究科 特任研究員 山﨑 達哉)	20
3.	展覧会報告Ⅲ	27
	大阪大学総合学術博物館第 18 回特別展 「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ~花鳥画の名品から俳画の珍品まで~」	
	· 概要	28
	・報告 (大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員 波瀬山 祥子)	32
4.	展覧会報告Ⅳ	37
	豊中市立郷土資料館 巡回展	
	豊中市立郷土資料館開館 1 周年記念事業 「庄内式土器〜豊中で発見された卑弥呼の時代の土器〜」	
	・概要/報告(大阪大学総合学術博物館 准教授 横田 洋)	38
5.	サイエンスカフェ	41
	・2023 年度(サイエンスカフェ@公民館 No.172 ~ 177) · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	43
6.	2023 体験!こどもミュージアム@大阪大学	46
7.	2023 ~繋げる・拡げる~ わくわく学習教室 with Osaka University	50
8.	大阪大学美術部 夏部展 2023 - 「境」	54
9.	豊中市立小中学生理科展サテライト展示	56

10.	教員活動報告 "	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • •		• • • • • •	 61
	総合学術博物館	館	長	河原	源太	 62
	総合学術博物館	副食	官 長	船越	幹央	 64
	総合学術博物館 研究	ピ・教育部	3			
	・資料基礎研究系	准	牧 授	辻野	博文	 66
	・資料先端研究系	准者	牧 授	豊田	二郎	 74
		准	牧 授	宮久伯	呆圭祐	 75
	・資料情報研究系	准者	牧 授	横田	洋	 76
	総合学術博物館 資料	半部				
		講	師	伊藤	謙	 77
11.	資料					 79
	・2023 年度の主な活	動一覧 …			• • • • • • •	 80
	·入館者数集計結果	一覧			• • • • • • •	 83
	·団体見学一覧					 84
	・関連記事一覧	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				 86
	・寄贈図書一覧	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				 87
	・館内配置図				• • • • • • •	 92

1. 展覧会報告 I

大阪大学総合学術博物館第24回企画展

石濵純太郎展

なにわ町人学者の東洋学

概要

大阪大学総合学術博物館 第 24 回企画展「石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学」を 2023 年 6 月 3 日(土)から 7 月 29 日(土)の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。

石濵純太郎は大正から昭和期に活動した、大阪が産んだ東洋学者である。東京帝大で中国 文学を、大阪外国語学校でモンゴル語を学んだ。没後、蔵書等は大阪外国語大学に入り、現 在は大阪大学総合図書館に「石濵文庫」として所蔵されている。本展覧会では、彼の収集し た図書・拓本ほかの研究資料、書簡・ノートなどの展示を通じて、彼が研究したアジアの様々 な文字や漢字の移り変わり、及び彼をとりまく学芸ネットワークを振り返った。

本展覧会中の期間中の来場者は、2,513名であった。

大阪大学総合学術博物館 第24回企画展

テーマ: 「石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学」

期 間:2023年6月3日(土)~7月29日(土)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム 主 催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学大学院人文学研究科

協 力:大阪大学附属図書館、大阪大学外国語学部、大阪大学文学部、

一般財団法人 懐徳堂記念会

入館者数:2,513名

<ミュージアムレクチャー>

6月3日(土)

「石濵シューレ("石濵学派")に集った東洋言語学者たち」

長田 俊樹 (総合地球環境学研究所名誉教授)

参加人数:20 名

6月10日(土)

「石濵文庫の調査と研究 ―展示の見どころ」

堤 一昭 (大阪大学人文学研究科教授)

参加人数:18名

6月24日(土)

「石濵純太郎とネフスキー」

生田 美智子(大阪大学言語文化研究科名誉教授)

参加人数:21名

7月1日(十)

「薬種問屋石濵屋から町人学者、純太郎へ」

石浜 紅子 (なにわの海の時空館 元館長、石濵純太郎ご令孫)

参加人数:37名





大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 TEL.06-6850-6284 https://www.museum.osaka-u.ac.jp/

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 開催日程・休館日変更になる場合があります。 ご来館前に当館ホームページ最新情報を ご確認ください。



なにわ町人学者の東洋学

石濵純太郎展

石濵純太郎(いしはまじゅんたろう、1888 (明治21)~1968 (昭和43)、関西大学 名誉教授)は大阪が生んだ大正から昭和戦後期に活動した東洋学者です。自他 ともに認める"町人学者"として、敦煌文献や未解読だった西夏文字、懐徳堂の 富永仲基の学問を研究しました。膨大な研究資料のコレクションと彼のまわりに 集う人々の輪「石濵サロン」は、生前から讃嘆されていました。また彼は大阪大 学の前身校でもある大阪外国語学校・大阪外国語大学、(旧制)大阪高等学校で 学び教え、さらに重建懐徳堂を活動の場とするなど、大阪大学とも縁が深い学 者です。没後、蔵書などが大阪外国語大学に「石濵文庫」として入り、現在は大 阪大学附属図書館に保管されていて整理、研究が進められています。

■展示構成

石濵純太郎が収集した資料から、漢字の変遷とアジアの文字・言語の多彩さ、 また彼をとりまく学芸ネットワークについて、展示を通じてご紹介します。

石濵純太郎コレクションからみる東洋の文字

1) 漢字とその仲間のひろがり 2) アルファベットの東洋への旅

第川部

石濵純太郎をめぐる人々一学芸のネットワーク

展示替えについては、ホームページに情報を掲載します。



孫秋生等造像記拓本



(重修護国寺感通塔碑)※部分



ジグンテイ(竹温台)碑拓本



青旗報社カレンダー(チンギスカン像)



『元朝秘史』



『静安学社通報』第一期





書斎での石濵純太郎

■ミュージアムレクチャー

いずれも13:30~15:00 待兼山修学館 3Fセミナー室 定員30名/先着順、開始30分前受付開始

石濵シューレ("石濵学派")に 集った東洋言語学者たち

長田俊樹(総合地球環境学研究所名誉教授)

6/10_±

石濵文庫の調査と研究 -展示の見どころ

堤 一昭(大阪大学人文学研究科教授)

6/24 五濵純太郎とネフスキー

生田美智子(大阪大学言語文化研究科名誉教授)

薬種問屋石濵屋から町人学者、

石浜紅子(なにわの海の時空館 元館長、石濵純太郎ご令孫)

大阪大学総合学術博物館へのアクセス

- ●阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」より徒歩約10分
- ●大阪モノレール「柴原阪大前駅」より徒歩約20分



※公共の交通機関をご利用ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入館時に手 指消毒などをお願いする場合があります。また掲載内容 に変更が生じる場合がございます。ホームページで最新 情報をご確認ください。

報告

大阪大学総合学術博物館 第24回企画展 「石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学 |

【開催趣旨】

石濵純太郎 (1888 (明治 21) 年~1968 (昭和 43) 年) は、大阪が産んだ大正から昭和戦後期に活動した東洋学者である。敦煌文献や未解読だった西夏文字、懐徳堂の富永仲基の学問の研究で知られている。石濵は大阪の製薬業の家に生まれ、漢学塾の泊園書院で学び、さらに東京帝国大学で中国文学を学んだ後、新設の大阪外国語学校でモンゴル語を学んだ。戦後には関西大学文学部教授を務めた。

彼は大阪・なにわの町人学者と自他ともに任じる一方で、当時の東洋学の最先端の学問を追究する研究者でもあった。生涯をかけて築きあげた膨大な研究資料のコレクションと彼のまわりに集う人々の輪は、生前から讃嘆されていた。また彼は大阪大学の前身校でもある大阪外国語学校・大阪外国語大学、旧制大阪高等学校で学び教え、さらに重建懐徳堂を活動の場とするなど、大阪大学との縁も深い。彼のコレクションは大阪外国語大学に「石濱文庫」として入り、現在は大阪大学総合図書館に保管されている。和書・漢籍・欧米諸言語の図書・雑誌だけでも4万冊以上にのぼり、石碑から採った拓本や彼の交友の広さを示す書簡ほかの学術資料も多様で膨大な点数がある。現在も整理・研究が進められ、新たな発見があいついでいる。

本展覧会「石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学」では、漢字の移り変わりとアジアのさまざまな文字、および石濵をとりまく学芸ネットワークの2つに焦点をあてて「石濵文庫」 資料を展示する。彼とその学問の拡がりを知るよすがとなれば幸いである。

【展示構成】

以下の2部構成とし、第 I 部はさらに「漢字とその仲間のひろがり」と「アルファベットの東洋への旅」に分けて、それぞれ字体・文字の変遷・継承を示す図をパネルで示し、それを拓本・写真などの資料を通して体系的にたどれるようにした。第 II 部は石濵純太郎の生涯をたどり、彼が青少年期からつくりあげていった8つの "層" からなる人々のつながりを、書簡、書籍、受講・講義ノートなどの資料を通して示した。

- 第 I 部 石濵純太郎コレクションからみる東洋の文字
- 1) 漢字とその仲間のひろがり
 - (1) 漢字 (a. 甲骨文字、b. 金文、c. 篆書、d. 隷書、e. 楷書、f. 行書・草書、g. 日本の漢字)
 - (2) 契丹文字、(3) 西夏文字、(4) 女真文字
- 2) アルファベットの東洋への旅

- (1) ソグド文字、(2) ウイグル文字、(3) モンゴル文字、(4) 満洲文字、(5) チベット文字、
- (6) パスパ文字、(7) 突厥文字

第Ⅱ部 石濵純太郎をめぐる人々――学芸のネットワーク

- 1) 石濵家と泊園書院、2) 大阪府立市岡中学校、3) 東京帝国大学・支那文学科、
- 4) 景社と懐徳堂の復興、5) 京都の東洋学者たち、6) 大阪外国語学校、
- 7) 関西大学ほかの教職、講演、8) 大阪・住吉の石濵学芸サロン

【展示会全体の概要】

住吉の自宅書斎で読書する石濵の写真を垂れ幕にしたもの (240cm × 200cm) を入口に提げ、間仕切り兼アイキャッチャーとした (展示状況 1)。以下の各パネルで各部分の概説を示した。入口近くに「あいさつ (石濵の略歴)」「なにわ「町人学者」とは?」とは何か」「「東洋学」とは?」、「1) 漢字系文字のひろがり」、展示室を進み「2) アルファベットの東洋への旅」を、第 Π 部近くに「石濵純太郎をめぐる人々-学芸のネットワーク」。そのほか一部の資料はパネルにより展示した。ほか大部分の資料は平置き展示ケースにより展示した(展示状況 2 ~ 4)。拓本資料の点数が多く、また巨大なものも多かったため、展示替えや部分展示で対応した。

(展示リストと解説集)

「展示リスト」(展示替え情報を付す)、および「展示資料解説集」(A4 判 14 ページ)を作成・印刷して冊子として入口に置いた。これらは同時に博物館 web サイトの本展覧会の箇所で、チラシとともに公開して閲覧・ダウンロード可能とし、来館者がスマホでも参照しつつ資料を観覧できるようにした。その一方で各資料の横に置くキャプションは最小限度の情報にとどめた。

(ミュージアムレクチャー)

会期内に4回のミュージアムレクチャーを修学館セミナー室で開催した。長田俊樹氏は「石濵シューレ("石濵学派")に集った東洋言語学者たち」と題し、氏の父君もその一員であった石濵シューレの活動について話された。堤一昭は「石濵文庫の調査と研究―展示の見どころ」と題し、文庫の調査・研究と見どころとなる資料について話した。生田美智子氏は「石濵純太郎とネフスキー」と題し、石濵とともに西夏文字研究に取り組んだニコライ・ネフスキーの事蹟について長年の研究成果に新知見を加えて話された。石浜紅子氏は「薬種問屋石濵屋から町人学者、純太郎へ」と題し、祖父・純太郎氏の書斎の思い出から「石濵文庫」が生まれたいきさつなど、町人学者を生んだ石濵家の歩みを話された。(広報)

チラシ、ポスターの配布・掲示、博物館 web サイトで広報した他に、大阪大学、大阪大学図書館、咲耶会(外国語学部同窓会)、日本モンゴル学会、書学書道史学会などの web サイトで本展覧会を紹介していただいた。また大人向けに大学の活動を広報する web サイト『ほとんど 0 円大学』(株式会社ホトゼロ運営)の取材を受け、「謎のオリジナル文字を見た。大阪大学の博物館「石濵純太郎展」でめぐる東洋の文字の旅」が掲載された。

【課題と展望】

(拓本の展示について)

展示対象の拓本には大型のものが多く、それらをどのように展示するかが課題であった。展示室の天井高などを考慮して全てを平置きとした。最大の「伊闕佛龕之碑」碑身(254cm×170cm)、「重修護國寺感通塔碑」西夏文面(266cm×100cm)が収まるケース(300cm×220cm×7cm)1台を特注したが(展示状況2)、他のケースで展示した拓本を含め、展示替えや部分展示(巻いてあるものは途中まで、折りたたまれたものは一部の面)で対応することになった。また2碑は碑身に代えて碑額の拓本を展示した。石濵文庫所蔵の拓本は碑面そのままを示す「整拓」が多く、拓本全面を展示できる施設での公開も今後望まれる。(歴史教育ほかへの寄与)

第 I 部 「石濵純太郎コレクションからみる東洋の文字」は、書道関係者および高校世界史教育の関係者(生徒・教員)に貴重な観覧体験を提供し得ると考え、広報につとめた。高校教員からは、生徒を引率しての来館には日曜のみしか可能な曜日がない、また教育面からも部分的・簡易なものでも図録が欲しかった旨の反応があった。高校・小中学校生徒の団体での来館をねらう場合、会期中の日曜開館や、会期を休暇期間にかけて設定するなどの方法、解説集に少数でも図版を掲載する方法も考えうる。

【おわりに】

「石濵文庫」所蔵の拓本資料などによる展覧会の提案を博物館から受けたのは2009年7月末のことで、当時作成した素案が今回の展覧会の出発点となった。その後の調査・研究、および展示予定の資料の修復を経て、今回の展覧会が実現した。科研基盤研究(C)「東洋学学術資産としての石濱文庫の基礎的研究」(2014~2016年度)では、大阪大学総合学術博物館での展覧会を想定して、学術的・美術的価値の高い拓本26点、および満洲国で刊行されたモンゴル語新聞の附録カレンダー2枚、地図2枚を修復していた。その修復済みの資料から一部を展示することができた。

今回の展覧会での展示資料(全71点)のほとんどは、大阪大学総合図書館「石濵文庫」所蔵のものであった。図書館には多数の資料の貸し出しについて格別のご配慮をいただいた。展覧会、ミュージアムレクチャーは無事に開催され、多くの来場者に楽しんでいただけたと考える。そこに至るまでには、博物館関係者各位のご尽力が欠かせなかった。来場者や全ての関係者各位にあらためて心から感謝の意を表したい。この展覧会を通じて、石濵純太郎とその学問が広く知られ、研究が進むことを切望している。



展示状況1 入口の「住吉の自宅書斎での石濵純太郎」垂れ幕と第Ⅱ部



展示状況 2 第 I 部「1 漢字系文字のひろがり」



展示状況3 第1部「2 アルファベットの東洋への旅」



展示状況 4 第Ⅱ部「石濵純太郎をめぐる人々-学芸のネットワーク」

2. 展覧会報告Ⅱ

大阪大学総合学術博物館 第 25 回企画展

ちんどん屋

-宣伝・広告に活きるハブ(集積/中継/交流)芸能-

概要

大阪大学総合学術博物館 第 25 回企画展「ちんどん屋 一宣伝・広告に活きるハブ(集積/中継/交流)芸能一」を 2023 年 10 月 25 日 (水)から 2024 年 2 月 17 日 (土)の間、大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館において開催した。ちんどん屋は口上や衣装、音楽などを活用して宣伝活動を行っている。その活用されている芸は、音楽や扮装に限らず、踊りや語り、人形振りなどのほか、多種多様である。ちんどん屋の活用する芸能は、様々な芸能のエッセンスを凝縮させたものといえる。それらの芸能を受け継ぎ、活用し、次に繋げているという意味で、ちんどん屋の芸能を「ハブ」となる芸能と捉えた。展覧会では、ちんどん屋の歴史を追いつつ、前身となる楽隊などにも注目し、ハブ芸能としてのちんどん屋の姿を紹介した。本展覧会の期間中の来場者は、5,105 名と好評であった。

大阪大学総合学術博物館 第25回企画展

テーマ:「ちんどん屋 一宣伝・広告に活きるハブ (集積/中継/交流) 芸能一」

期 間:2023年10月25日(水) ~ 2024年2月17日(土)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

主 催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター

協 力:大阪大学大学院人文学研究科、(有)東西屋ちんどん通信社

入館者数:5,105名

<ちんどん屋による宣伝>

10月26日(木) 石橋商店街周辺(担当:ちんどん通信社)

11月13日(月) 中之島周辺(担当:ちんどん通信社)

11月28日(火) 箕面駅周辺(担当:ちんどん通信社)

12月18日(月) 川西能勢口駅周辺(担当:ちんどん通信社)

2月8日(木) 池田駅周辺(担当:ちんどん通信社)

2月15日(木) 石橋阪大前駅周辺(担当:ちんどん通信社)

<ギャラリートーク>

11月16日(木) 11:00~11:20

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

講師:林 幸治郎(ちんどん通信社)

来場者数:10名

11月16日(木) 14:00~14:20

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

講師:林 幸治郎(ちんどん通信社)

来場者数:8名

12月11日(月) 14:00~14:20

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

講師:林 幸治郎(ちんどん通信社)

来場者数:18名

12月11日(月) 16:00~16:20

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

講師:林 幸治郎(ちんどん通信社)

来場者数:8名

2月15日(木) 14:00~14:40

会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階多目的ルーム

講師:林 幸治郎(ちんどん通信社)

来場者数: 28名



ちんどん屋は、扮装をし、歌舞音曲や口 上などを用いて、各種の宣伝をすることを生業とし ています。

ちんどん屋が広告の際に用いる芸は、音楽に限 らず、語り芸の口調や伝統的な芸能の仕草、時と 場合に合わせた衣装など、多種多様です。それら の芸は、過去のちんどん屋から受け継いだものに 加え、新しい芸も取り入れるなど、時空を超えた 蓄積があります。人々の耳目を集めるため、あるい は気を引くために活用される芸は、ちんどん屋を 軸として、芸能の領域を超えて交わり、過去の芸 を未来へとつないでいるといえるでしょう。

ちんどん屋の芸は、さまざまな芸能の時代や種 類を問わず集め、交わらせ、繋ぐ、ハブ的な芸とい えるのではないでしょうか。現代においても日本各 地や海外などで活躍しているちんどん屋は、私たち の郷愁の中だけでなく生活の中に生きています。

本展覧会では、ハブ芸能としてのちんどん屋の 歴史や芸能、交流やコミュニケーション方法など 様々な魅力を紹介します。

展示内容

- 1 — ちんどん屋とは
- 2 -- 楽隊広告
- 3 -- ちんどん屋の芸
- ちんどん屋のこれから



▲ ちんどん太鼓

- B 販売所新規開店披露の折の楽隊広告 (大阪麦酒の頃) (アサヒグループジャパン所蔵)
- C 獅子頭 D 第1回全国ちんどん博覧会公式ガイドブック

大阪大学総合学術博物館 第25回企画展

ちんどん屋 宣伝・広告に活きるハブ芸能

集積•中継•交流

会期 2023年10月25日 永 —

→ 2024年2月17日(土)

※会期中展示替えを予定

開館時間 10:30 ~ 17:00 〈入館は16:30まで〉

休館日 日曜·祝日·年末年始

入館料無料

関連イベントを開催予定です。詳細情報はこちら▶



主催 大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター 協力 大阪大学大学院人文学研究科、(有) 東西屋 ちんどん通信社

本展覧会は、公益財団法人 芳泉文化財団 地域文化活性化部門の助成の一部(ちんどん屋と〇〇 一芸能のタイム カプセルとしてのちんどん屋の魅力を探る一)を使用しております。







★ 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 TEL 06-6850-6284 museum.osaka-u.ac.jp

アクセス 阪急電鉄宝塚線「石橋阪大前駅」より徒歩約10分 大阪モノレール「柴原阪大前駅」より徒歩約20分 ※公共の交通機関をご利用ください。



報告

大阪大学総合学術博物館 第 25 回企画展 「ちんどん屋 ― 宣伝・広告に活きるハブ(集積/中継/交流)芸能― |

大阪大学中之島芸術センター 特任研究員 山﨑 達哉

大阪大学総合学術博物館では、第 25 回企画展「ちんどん屋 一宣伝・広告に活きるハブ (集積/中継/交流) 芸能―」を開催した。展覧会の会期は、2023 年 10 月 25 日 (水) から 2024年 2 月 17 日 (土) で、会場は、大阪大学総合学術博物館待兼山修学館であった。

ちんどん屋は口上や衣装、音楽などを活用して宣伝や広告等の活動を行う団体もしくは 個人である。宣伝をする対象は様々で、依頼主からの依頼を受けて、依頼内容に沿った宣 伝を行う。すなわち、ちんどん屋は口上や扮装、音楽などの各種の芸を活用して宣伝を行 う「広告代理業」である。その活用される芸は、口上や扮装、音楽以外にも、踊りや浄瑠 璃語り、人形振りなどのほか、多種多様である。ちんどん屋が、それらの芸能を受け継ぎ、 活用し、次に繋げているという意味で、ちんどん屋の芸能を「ハブ」となる芸能と捉えた。 ちんどん屋の活用する芸能は、これらの様々な芸能のエッセンスを凝縮させたものといえ る。展覧会では、「広告代理業」としてのちんどん屋の歴史に注目しつつ、企業の宣伝を担っ た楽隊をちんどん屋の前身と捉え、さらに舞台でのちんどん屋の姿にも焦点をあて、ハブ 芸能としてのちんどん屋の姿を紹介した。なお、展覧会の設営、装飾を木工豊川に依頼し たことにより、展示室を博物館の展示室としてだけではなく、ちんどん屋の持つ雰囲気を 来場の方々に味わっていただけるよう工夫した。また、ちんどん屋についての理解を展示 内容にとどまらず実体験として受け取ってもらいたいという考えから、ちんどん屋の本業 である街頭での宣伝を複数回行った。さらには、有限会社東西屋 ちんどん通信社の林幸治 郎に5回ギャラリートークを行ってもらい、展示物の解説を個人的な記憶、思い出ととも に語ってもらった。展覧会のチラシ、ポスター、ポストカード、キャプション等の美術、 デザインは岸本昌也が担当した。なお、本展覧会開催にあたり、様々な方にご協力を賜った。 ここにお名前を記し、深く感謝の意を表したい(五十音順、敬称略)。アサヒグループジャ パン、味の素株式会社、花王株式会社 花王ミュージアム、株式会社クラブコスメチックス、 資生堂企業資料館、L.フロントリテイリング史料館、大日本除虫菊株式会社、株式会社ツ ムラ、有限会社 東西屋ちんどん通信社、久光製薬株式会社、福助株式会社、公益財団法人 |芳泉文化財団| 地域文化活性化部門、森下仁丹株式会社、森永製菓、ライオン株式会社。

ちんどん屋はその祖先を江戸時代末期に活躍した飴勝にあるとされている。飴勝は、口上を得意としており、その売り声を活用して寄せの宣伝などを行った。他者の商売のために自身の声を使ったという点で、「人を媒介とした広告代理業」を始めたと考えられる。このことが、飴勝をちんどん屋の祖先とみなすことになっている。その後、飴勝のように口上や売り声などを活用した「広告代理業」を担う者が現れ、拍子木等の鳴り物だけではなく、

様々な楽器や隊列を組んだ宣伝が登場した。やがて、大型の楽隊による宣伝・広告が減ると、少人数による宣伝活動が行われることになる。その際、これまで別々に担当がいた、鉦、締太鼓、胴太鼓を組み合わせ、さらに歩行も可能にした楽器が誕生する。これが現在「ちんどん太鼓」と呼ばれる楽器である。歩きながら複数の楽器が演奏できることで、少人数での隊列による宣伝も可能となった。大正時代末期から昭和時代初期頃には、「ちんどん屋」という呼称も登場しており、現在のちんどん屋のかたちが現れたのもこの時期であろうと思われる。以降、ちんどん屋は、ちんどん太鼓担当、楽士(主にメロディなどを演奏する)担当、ゴロス(大太鼓)担当、チラシ配り(ビラ配り、ビラまきなどともいう)担当、のように3~4名での少人数で宣伝活動を行っている。そのほか、昭和30(1955)年から富山市で開催されている全日本チンドンコンクールのように、ちんどん屋は、ステージ上での芸も身につけ、披露している。

展覧会は大阪大学総合学術博物館入り口から始まった。入り口には、木工豊川によるイラストのちんどん屋が迎えており、それは「顔はめパネル」になっていた(図1)。

3階に上がり、展示室の第1室では、「ちんどん屋」と書かれた大きな提灯と、展覧会チラシを模した図柄の看板が迎える(図 2)。いずれも木工豊川による作である。また、今回の展示を表す口上の書かれた巻物も入り口付近に掲示された(図 3)。展示内容としては、上記のような飴勝からちんどん屋につながる歴史とちんどん屋の楽器を紹介した。歴史では、飴勝から始まった「広告代理業」が勇亀、豆友と続いた年表を紹介し、中でも明治時代に大阪で活躍した丹波屋九里丸とさつまやいも助を特別に取り上げた。また、有限会社東西屋の協力を得て、その監修のもと、近畿地方に存在した、現在も存在しているちんどん屋の系図も紹介した。展示室の第1室はちんどん屋の概要、歴史、現在を伝える部屋となった。

続く展示室の第2室では、企業による楽隊の広告を写真や各企業の社史などで紹介した。 明治時代になり、新しい文化が入ったことで、これまでにない製品も登場した。各企業は その製品をいかに宣伝するかに尽力した中で、楽隊による宣伝・広告を行うことを試みた。 「企業の楽隊広告」と題して、様々な企業の社史に残る写真を紹介した。なお、楽隊は、「宣 伝隊」、「音楽宣伝隊」、「街頭宣伝隊」など企業によって呼び名が異なる。企業をみてみると、 ビール、石鹸、洗剤、洋菓子、化粧品、百貨店などがある。また、あんぱんやタバコなど、 楽隊を活用して宣伝した企業でもここに紹介しきれなかった企業もある。

楽隊の編成をみてみると、邦楽器と洋楽器のそれぞれの楽隊が存在している様子や、邦楽器と洋楽器の混ざった楽隊もみえる。時代を経るにつれ、ちんどん太鼓のような楽器を携えている様子も窺える。また、音楽隊だけではなく、飛行機や自動車を利用した宣伝活動もみえる。そのほか、自社製品の着ぐるみのような作り物なども用意した宣伝の様子もあり、各企業がかなり力を注いでいたことがわかる。次室のテーマにつながるが、作り物の活用は扮装の芸ともいえるだろう。楽隊によっては、試供品などを配り歩くことで、自社製品の認知度や使用方法などを広めていたこともあり、チラシ配りも務める者がいたこともちんどん屋に通じることかもしれない。さらには、海外での「宣伝隊」の様子もあり、

企業によっては、海外進出の際にも「宣伝隊」を活用して宣伝を行っていたことがわかる。なお、海外での宣伝でも作り物の使用や、試供品を配り歩くこともしていたようである。ちんどん屋が、扮装や音楽、各種の芸能を活用しながら街中を宣伝して歩くことを仕事としていることを考えると、これらの企業の「宣伝隊」もちんどん屋の前身にあたる重要な要素といえる。

展示室の第3室では、衣装や鬘、獅子頭、「人形振り」の映像などでちんどん屋の芸について紹介した。ちんどん屋が広告代理を請け負うことができるのは依頼があるからだといえるが、その依頼を如何にして受けることができるかどうかは、その芸によっているのではないだろうか。依頼する側としては宣伝にならないようでは依頼する意味がなくなってしまう。ちんどん屋としても、依頼を受けた以上、依頼者に満足してもらうだけではなく、街の人々に受け入れてもらう必要もある。そのため、ちんどん屋は様々な工夫を凝らして各種の芸を行っている。ちんどん屋と聞いてまず思い浮かべるのはその衣装であろう。衣装は和服、洋服、その他様々な衣装を用意している。また、化粧や鬘なども使用する。これらの扮装は決して派手である必要はなく、特別目立とうとしているわけではない。一方で、宣伝で行なっているため、ある程度目を引く必要もある。宣伝を行う先々で邪魔をせず、しかし人に気づいてもらえるような格好を選択している。もちろん、その結果派手であったり、目立とうとしたりすることはある。基本的には、依頼主の希望を聞きつつ、時と場所、季節などを考慮した扮装となる。また先の「宣伝隊」のように作り物を作って、その中に入って歩くこともある。

扮装以外でちんどん屋といえば音楽、楽器の演奏になるだろう。こちらも、時、場所、季節、 街の雰囲気に合わせて演奏する音楽が選ばれる。時には宣伝内容に合わせた曲の選択も行 われる。街を歩きながら、演奏の音量や雰囲気なども調節して街を廻っている。

ちんどん屋の重要な仕事のひとつであり、芸の見せ所が口上であろう。依頼主の希望に沿いつつ、うまく宣伝文句を織り交ぜた口上が求められる。宣伝や広告を行うちんどん屋は、宣伝対象の「ウリ」をいかに聞いてもらえるかが重要となるため、人の気を引くために扮装や音楽などが必要となるが、同時に人に聞いてもらうための話術や話芸も魅力となる。そのような宣伝文句は、物売りの口上や寄席の芸人の話芸などを吸収してきたとも考えられる。ちんどん屋の口上は、訓練された方もそうでない方も、人の耳を惹きつける力が求められている。

宣伝活動以外では、求められる内容に合わせて、(主に年始の) 慶事での獅子舞や、軽演劇のような芝居など多種多様な芸を披露するが、これも積み重ねられた歴史を思わせる。獅子舞は主に正月でのお祝い事で行われる。獅子舞を芸に取り込むことができたのも、囃子を活用した宣伝を行なってきた蓄積かもしれない。軽演劇などは舞台で芸を披露する際に求められることが多く、身につけていったものと考えられるが、一方で、役者をやっていた者がちんどん屋に職を変えた歴史もあることを考えると、突然始まった芸ではなく、こちらも歴史の積み重ねの上で受け継がれてきた芸のひとつと考えて良いのではないだろうか。慰労会や大衆演劇との共演など、各種の軽演劇もちんどん屋の芸のひとつとして活

用されている。宣伝活動以外で行われることが多いこれらの芸も、一旦路上に出ると、宣 伝活動を豊かにするためのわざとして活用されることがある。はっきりと「この部分」と指 摘することは困難ではあるが、全く活かされないということはない。

舞台上のちんどん屋は展示室第4室でも紹介した。主に、ステージ、イベント等のちんどん屋である。宣伝、広告を行うちんどん屋だが、技術や知恵の蓄積を活かしてステージでのパフォーマンスも得意としている。ここでは、全日本チンドンコンクールやちんどん博覧会のパンフレット、ちんどん博覧会の映像をみせて紹介した。

毎年4月の上旬に富山市で開催されている「全日本チンドンコンクール」には、プロ、アマチュア、学生など、様々なちんどん屋が全国から集まり、ステージ上にて宣伝の方法などを競う。コンクール出場者にはスポンサーがつき、それぞれのスポンサーについての宣伝を行う。第1回は昭和30(1955)年に開催され、近年では新型コロナウィルスの影響で中止になったこともあるが、ほぼ毎年開催されている。全出場者らで行う大パレードは、歩きながら演奏を行うちんどん屋それぞれの特徴が見られる貴重かつ楽しい時間となる。

また、一宮市萩原町では、毎年5月下旬に「全国選抜チンドン祭」が行われている。こちらも全国からちんどん屋が集まり、ステージで宣伝の方法などを競うものである。こちらも、コンクールの後には大きなパレードも行われる、人気のあるイベントとなっている。

そのほか、2000年から2003年にかけては、「ちんどん博覧会」というイベントも4回にわたって催された(第5回は2007年)。当時のベテランちんどん屋から中堅、若手のちんどん屋が全国から集まり、ステージパフォーマンスを中心に、練り歩きなどが行われた。過去から受け継いだ、ちんどん屋の知やわざを未来に繋げられるよう、「今」のちんどん屋を披露すべく開催された。

路上での宣伝活動を中心としているちんどん屋が、その技術などを活かしてステージパフォーマンス行うが、その活動は、路上での宣伝にも活かされているだろう。

以上のように、第1室から第4室まで、ちんどん屋の歴史や芸などに触れて展覧会を開催した。各展示室では、先に述べたように木工豊川による美術も助けとなり、賑やかな展示室となった。なお、展示だけではちんどん屋の魅力を伝えきれないと考え、ちんどん屋によるギャラリートークと、展覧会の宣伝を行ってもらった。ギャラリートークでは、ちんどん通信社の林幸治郎が自身の記憶と重ね合わせながら、ちんどん屋の歴史とちんどん屋の芸について語ってもらった(図4)。展覧会の宣伝は、大阪大学豊中キャンパス近くの石橋商店街周辺、大阪大学中之島芸術センターのできた中之島周辺(図5)だけではなく、阪急電鉄の箕面駅周辺(図6)、川西能勢口駅周辺、池田駅周辺(図7)といった、大阪大学総合学術博物館に通っていただけそうな場所でちんどん通信社に宣伝をしてもらった。展示のちんどん屋だけではなく、実際に宣伝をしているちんどん屋を体験してもらうことができたのではないだろうか。訪れた先で出会う方々は場所を問わず、よろこんでポストカードやチラシを受け取ってくれた。この場合、大阪大学総合学術博物館が依頼主となり、ちんどん屋が依頼を受け、展覧会の宣伝をする、という構図であるが、「ちんどん屋がちんとん屋の展覧会を宣伝する」という複雑なことになってしまった。しかし、ちんどん屋は

依頼に合わせて宣伝を行なってくれるものであり、こちらの期待に応えていただく内容になっていたと思う。よく尋ねられる質問に、「どうやったらちんどん屋が呼べるか」というものがある。展覧会の最後にも展示したのだが、「ちんどん屋は呼べる」。予算や内容を伝えると、それに合わせた準備をしてもらえるし、日時や場所を考慮して、ちんどん屋の方から提案をもらえることもある。これまで書いてきたように、ちんどん屋は各種の芸を受け継ぎ、活かし、次に繋げる、芸能のハブのような活躍をしている。依頼する宣伝においても、それらの芸が十分に活かされるだろう。本展覧会にて、ちんどん屋に関心を持っていただいた方によってちんどん屋が街に増える機会になればと思う。ちんどん屋はノスタルジーの世界にのみ存在するのではなく、現代の私達と同じ社会に存在し、活躍する広告代理業であることが重要だと考える。また、ちんどん屋の担う芸は、人を引きつける力があり、宣伝に活用されることはもちろんだが、街や人を楽しませることができることも同時に重要なことだろう。



図1 顔はめパネル



図2 第1室の様子



図3 展覧会紹介口上の巻物



図4 ギャラリートーク



図5 中之島エリアでの街廻り宣伝



図6 箕面エリアでの街廻り宣伝



図7 池田駅周辺での街廻り宣伝

3. 展覧会報告Ⅲ

第 18 回特別展 博物館・豊中市連携事業 中之島芸術センター開館記念

豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ~花鳥画の名品から俳画の珍品まで~

概要

大阪大学総合学術博物館第 18 回特別展博物館・豊中市連携事業 中之島芸術センター開館記念 「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ~花鳥画の名品から俳画の珍品まで ~」を 2023 年 10 月 14 日(土)から 11 月 19 日(日)の間、中之島会場(大阪大学中之島芸術センター 展示室(中之島センター4 階))及び豊中会場(豊中市立文化芸術センター特別展示室)において開催した。大阪府の北部に位置する豊中市は、江戸時代から現代に至るまで、数多くの文化人・芸術家が集う文化都市として発展してきた。展覧会では、豊中市にまとまって所蔵される約 250 点の日本絵画のうち、月岡雪鼎、呉春、矢野橋村、河東碧梧桐など、イチ推しの優品約 50 点を展示した。これらの作品は、2021 年に大阪大学総合学術博物館が豊中市より寄託を受け、博物館とともに本学人文学研究科の教員・学生が調査研究を進めてきたもので、大坂画壇の画家によるもの、詩文を伴うもの、軽妙で洒落た趣のものを多く含むという特徴が明らかになった。本展覧会の期間中の来場者は、1,217 名(中之島会場のみ、豊中会場はカウントせず)と好評であった。

大阪大学総合学術博物館第 18 回特別展 博物館・豊中市連携事業 中之島芸術センター開館記念

テーマ:「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華~花鳥画の名品から俳画の珍品まで~」

期 間:2023年10月14日(土) ~ 11月19日(日)

会場:中之島会場 大阪大学中之島芸術センター 展示室(中之島センター4階)

豊中会場 豊中市立文化芸術センター 特別展示室

主 催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター、豊中市

協 力:大阪大学大学院人文学研究科

入館者数:1,217名(中之島会場のみ、豊中会場はカウントせず)

<ミュージアムレクチャー>

10月14日(土) 13:30~15:00

「近代大阪画壇研究のパースペクティブ~森琴石から北野恒富、島成園まで~」

会場:大阪大学中之島芸術センター

講師:橋爪 節也(大阪大学 名誉教授)

来場者数:33名

11月19日(日) 13:30~15:00

「京・大坂 日本絵画の精華展に寄せて 私のお気に入り」

会場:大阪大学中之島芸術センター

講師:門脇 むつみ (大阪大学大学院人文学研究科 准教授)

来場者数:22名

<豊中市所蔵品展関連ギャラリートーク>

10月28日(土) 11:00~11:20 14:00~14:20

会場:豊中市立文化芸術センター、大阪大学中之島芸術センター

講師:波瀬山 祥子(大阪大学総合学術博物館研究支援推進員)

来場者数:21名

11月11日(土)11:00~11:20 14:00~14:20

会場:豊中市立文化芸術センター、大阪大学中之島芸術センター

講師:渡野 りつ佳 (大阪大学大学院人文学研究科 博士前期課程)

宮﨑 慎一郎 (大阪大学文学部 学生)

来場者数:12名



中之島会場

2 会 場 同 時 開 催

由 会場



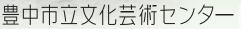
大阪大学中ス島芸術センター 展示室(中之島センター4階)



開館時間 10:30~17:00 ※月曜·祝日及び 10/31(火)休室 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-53 https://www.art.osaka-u.ac.jp



展覧会の詳細については、大阪大学総合学術博物館のホームページ、もしくは各会場のホームページをご覧ください。 内容は都合により変更になる場合がございますので、最新の情報をご確認の上ご来場ください。





※月曜 及び 開館時間 9:00~20:00 10/31(火)休室

〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町3-7-2 https://www.toyonaka-hall.jp



大阪大学総合学術博物館 https://www.museum.osaka-u.ac.jp TEL 06-6850-6284



① 松瀬青々「梟図」(豊中会場) ② 河東碧梧桐「猫図」(中之島会場) ③ 源琦「寿老人図」(中之島会場) ④ 月岡雪鼎「鯉図」(中之島会場) ⑤ 冷泉為恭「太秦牛祭図」(中之島会場) ⑥ 白神嶂々「牡丹図」(中之島会場) ⑦ 鈴木百年「老松孔雀図」(豊中会場) ⑧ 中井藍江「白雉図」(中之島会場) ⑨ 矢野橋村「漁者晨行」(豊中会場) ※これらの9点は全て切り抜いた部分です。 タイトル背景/呉春「郭子儀図」(中之島会場)



大阪府の北部に位置する豊中市は、江戸時代から現代に至るまで、数多くの文化人・芸術家が集う文化都市として 発展してきました。この展覧会では豊中市にまとまって所蔵される約250点の日本絵画のうち、イチ推しの優品約50点を展示します。 大坂画壇を代表する月岡雪鼎、京都で活躍し池田滞在中に改名し新しい画境を開いた四条派の祖・呉春といった近世の大物画家 から、1924年に大阪美術学校を設立し晩年を豊中市で過ごした矢野橋村など、近代のアートシーンを牽引した画家の優品が揃い

ます。また俳句革新運動で知られる河東碧梧桐をはじめ国学者や劇作家ら職業画家ではない人々の妙趣ある作品も見所です。 これらの作品は、2021年に大阪大学総合学術博物館が豊中市より寄託を受け、博物館とともに本学人文学研究科の教員・学生が

調査研究を進め、大坂画壇の画家によるもの、詩文を伴うもの、軽妙で洒落た趣のものを多く含む特徴が明らかになりました。

本年4月、大阪大学中之島芸術センターがオープンし、美術作品も展示できる展示室が開室したことにより、

本展を大阪大学と豊中市の2会場で開催する運びとなりました。大阪大学はこれからも地域と連携した

研究に力を入れ、歴史豊かな豊中市および府内の美術作品について積極的に発掘し

再評価に努めていきます。心おどる作品の数々をお楽しみください。



月岡雪鼎「鯉図」(中之島会場)



中井藍江「白雉図」(中之島会場)





呉春「郭子儀図」(中之島会場)

イベント

■ ミュージアムレクチャー

「近代大阪画壇研究のパースペクティブ

~森琴石から北野恒富、島成園まで~」

橋爪節也(大阪大学 名誉教授)

開催日:10月14日(土)

■ ミュージアムレクチャー

「京・大坂 日本絵画の精華展に寄せて 私のお気に入り」 門脇むつみ(大阪大学大学院人文学研究科 准教授) 開催日:11月19日(日)

いずれも大阪大学中之島芸術センター 4階セミナー室 13時30分~15時(13時より入室開始)

先着:30名 参加:無料(事前申込不要)

ギャラリートーク

(展覧会のみどころをご紹介します)

- 10月28日(土)/11月11日(土)
- ・豊中市立文化芸術センター 特別展示室 11時~(20分程度)
- ・大阪大学中之島芸術センター 4階展示室 14時~(20分程度)

参加:無料(事前申込不要)

お問い 合わせ

https://www.museum.osaka-u.ac.jp TEL 06-6850-6284





矢野橋村「漁者晨行」(豊中会場)

展示構成

大坂画壇の月岡雪鼎、池田で活躍した 呉春ら近世の作品を中心に35点

大阪大学中2島芸術センター 展示室(中之島センター4階)

開館時間 10:30~17:00 ※月曜·祝日、10/31(火)休室 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-53 https://www.art.osaka-u.ac.jp

- ・京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より徒歩約9分
- · JR東西線 新福島駅より徒歩約9分

豊中市ゆかりの矢野橋村など 近代以後の作品を中心に15点

豊中市立文化芸術セ

特別展示室

開館時間 9:00~20:00 ※月曜、10/31(火)休室 〒561-0802 大阪府豊中市曽根東町3-7-2 https://www.toyonaka-hall.jp

- 阪急宝塚線 曽根駅より徒歩約5分
- ※いずれも豊中市所蔵。作品の展示期間・展示会場については、 ホームページをご確認ください。
- ① 松瀬青々「梟図」(豊中会場) ② 冷泉為恭「太秦牛祭図」(中之島会場)
- ③ 中井藍江「白雉図」(中之島会場) ④ 源琦「寿老人図」(中之島会場)
- ⑤ 白神皡々「牡丹図」(中之島会場) ⑥ 河東碧梧桐「猫図」(中之島会場) ※これらの7点は全て切り抜いた部分です。

報告

第 18 回特別展博物館・豊中市連携事業 中之島芸術センター開館記念 「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ~花鳥画の名品から俳画の珍品まで~」

> 大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員 波瀬山 祥子

【開催概要】

大阪府の北部に位置する豊中市は、江戸時代から現代に至るまで、数多くの文化人・芸術家が集う文化都市として発展してきた。この展覧会では、豊中市にまとまって所蔵される約250点の日本絵画のうち、イチ推しの優品約50点を展示した。

大坂画壇を代表する月岡雪鼎、京都で活躍し池田滞在中に改名し新しい画境を開いた四条派の祖・呉春といった近世の大物画家から、1924年に大阪美術学校を設立し晩年を豊中市で過ごした矢野橋村など、近代のアートシーンを牽引した画家の優品が揃った。また俳句革新運動で知られる河東碧梧桐をはじめ国学者や劇作家ら職業画家ではない人々の妙趣ある作品も見所であった。

これらの作品は、2021年に大阪大学総合学術博物館が豊中市より寄託を受け、博物館とともに本学人文学研究科の門脇むつみ教授と、学生が中心になって調査研究を進め、大坂画壇の画家によるもの、詩文を伴うもの、軽妙で洒落た趣のものを多く含む特徴が明らかとなった。

2023年4月に、大阪大学中之島芸術センターがオープンし、美術作品も展示できる展示室が開室したことにより、本展を大阪大学と豊中市の2会場で開催する運びとなった。中之島芸術センターでは主に江戸時代の作品、豊中市文化芸術センターでは主に近代以降の作品、豊中市ゆかりの矢野橋村作品を展示した。





豊中会場の展示の様子





中之島会場の展示の様子

【ミュージアムレクチャー】

会期中2回のレクチャーを開催した。10月14日(土)に開催した「近代大阪画壇研究のパースペクティブ~森琴石から北野恒富、島成園まで~」では、展示作品に限らず、文人画から美人画まで、幅広い視点で近代大坂画壇の最新の研究や魅力について、橋爪節也氏にお話いただいた。

11月19日(日)に開催した「京・大坂 日本絵画の精華展に寄せて 私のお気に入り」では、展示作品のなかでも、特に珍品である河東碧梧桐の「猫図」について他の碧梧桐の作品と比較しながら、本図の特徴を門脇むつみ氏に詳述いただいた。





ミュージアムレクチャーの様子

【ギャラリートーク】

会期中2回のトークを開催した。特に、11月11日(土)には、調査や作品解説に携わった学生2名が担当し、来館者に展示概要や作品の内容、描写について話をした。事前に時間配分や、導線、解説する作品を考え練習をして挑んだ。来館者からは鋭い質問も出て、学生にとって貴重な体験となった。





ミュージアムレクチャーの様子

【リーフレットの無料配布・HP での公開】

展覧会に合わせて、作品の画像と解説を掲載したリーフレットを作成し会場で無料配布を行なった。来館者からは、無料であることの驚きの声もいただいた。ISBN を取得し国立国会図書館等のサイトでも検索が可能となった。また、全ページを弊館の HP で公開したことでインターネット上からも閲覧可能とした。展覧会中のみならず、今後も継続して豊中市所蔵品の存在が広く世間に知られ、活用されていくことを期待する。

<執筆メンバー>

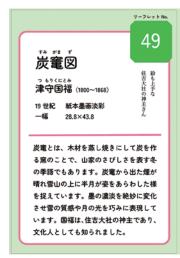
門脇むつみ(大阪大学大学院人文学研究科)、波瀬山祥子(大阪大学総合学術博物館)、谷岡彩、見学知都世(以上、大阪大学大学院人文学研究科博士後期課程)、小野雄希、小松亜希子(以上、同院人文学研究科博士前期課程修了)、杉ノ原朋加、花田珠可子、原田直輝、渡野りつ佳(以上、同院人文学研究科博士前期課程)、上松春菜、西田那央(以上、大阪大学文学部卒業)、宮崎慎一郎、齋藤風伯(以上、同学文学部)、王雪映(ハーバード大学/元・大阪大学招へい研究員)。作品の賛は、飯倉洋一(大阪大学名誉教授)が校正に協力した。



リーフレット一部

【デザインの工夫】

日本美術にも親しみがない方にも興味を持っていただけるよう、展示パネルやキャプションは見やすくポップなデザインを心がけ、キャプションにはキャッチコピーも付した。また、学生の調査の様子を紹介するバックヤード紹介パネルも設置した。







【反省と今後の課題】

展示スペースの都合上、全ての作品を公開することができず、来館者からは思ったより展示室が狭く点数がなくて残念という声が多かった。これらのコレクションは継続して弊館に寄託していただくことになったので、今後も研究や展示で公開する機会を増やしていきたい。

4. 展覧会報告Ⅳ

豊中市郷土資料館 巡回展 豊中市郷土資料館開館 1 周年記念事業

庄内式土器

~豊中で発見された卑弥呼の時代の土器~

概要

豊中市立郷土資料館開館1周年記念事業 巡回展「庄内式土器〜豊中で発見された卑弥呼の時代の土器〜」を2024年1月8日(月・祝)から1月26日(金)の間、大阪大学会館3階歴史展示室において開催した。本展覧会は多くの方にご来場頂き好評であった。 (入場者数はカウントせず)

豊中市立郷土資料館開館1周年記念事業 巡回展「庄内式土器~豊中で発見された卑弥呼の時代の土器~」

会 期:2024年1月8日(月・祝)~1月26日(金)

会 場:大阪大学会館3階 歴史展示室

主 催: 豊中市立郷土資料館

共 催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学埋蔵文化財調査室

令和6年(2024)1月の約3週間、大阪大学会館3階の歴史展示室において豊中市立郷土 資料館開館1周年記念事業 巡回展「庄内式土器~豊中で発見された卑弥呼の時代の土器~」 が開催されました。

本展覧会は豊中市立郷土資料館の開館1周年を記念して令和5年(2023)10月から12月に開催された同タイトルの特別展を豊中市と連携協力関係にある大阪大学においても巡回展として、学生や教職員また豊中市北部の市民向けに開催されたものです。

庄内式土器は現在の豊中市庄内にあった庄内尋常小学校の建設用地で発見されたもので、 弥生時代から古墳時代へ移り変わる時期、「卑弥呼の時代」の土器であることが判明し、見 つかった場所にちなんで「庄内式土器」と呼ばれるようになったものです。

考古学上の年代をはかる重要なものさしの一つとなった、庄内式土器の発見から研究の流れや、豊中との関係について、また庄内式土器そのものの特徴や生活スタイルの変化、土器が使用された時代背景などについて、他の地域の状況も交えて紹介されました。





豊中市立郷土資料館開館1周年記念事業



会 期 令和6年(2024年)~ $\mathbf{1}$ 月 $\mathbf{8}$ 日(月·祝)~ $\mathbf{1}$ 月 $\mathbf{26}$ 日(金)

時 間 10:30~16:30(1月8日のみ9:50~14:00)

休館日 土曜日・日曜日

会 場 大阪大学会館3F歴史展示室(大阪大学豊中キャンパス内)

料 金 無料

主催 豊中市立郷土資料館 共催 大阪大学総合学術博物館 大阪大学埋蔵文化財調査室

本展覧会は、令和5年(2023年)10月~12月に豊中市立郷土資料館の開館1周年を記念して同館で開催された特別展を、豊中市と連携協力関係にある大阪大学においても巡回展として開催するものです。

昭和 10 年(1935 年)から始まった庄内尋常高等小学校の建設工事で土取りをした際に、たくさんの土器が見つかりました。のちの研究でそれらの一部が、弥生時代から古墳時代へ移り変わる時期、「卑弥呼の時代」の土器であることが判明しました。そして、見つかった場所の地名にちなんで「庄内式土器」と呼ばれるようになったのです。

今回の展示では、考古学上の年代をはかる重要なものさしの一つとなった、庄内式土器の発見から研究の流れや、豊中との関係について展示します。また庄内式土器そのものの特徴や生活スタイルの変化、土器が使用された時代背景などについて、他の地域の状況も交えて紹介します。

豊中市立郷土資料館 開館 1 周年記念事業

庄內式土器

〜豊中で発見された 卑弥呼の時代の土器〜



小型壺出土状況 (穂積遺跡)

時間 10時30分~16時30分(1月8日のみ9時50分~14時)

10 nd 20 N . - 10 nd 20 N (1 12 0 nd 20 N) . - 14 nd)

休館日 土曜日・日曜日

料金無料

易 大阪大学会館 3 階 歴史展示室(豊中市待兼山町 1-13 大阪大学豊中キャンパス内)



【アクセス】

阪急電鉄「石橋阪大前」駅 徒歩 15 分 大阪モノレール「柴原阪大前」駅 徒歩 15 分 ※公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ】

展覧会について

豊中市立郷土資料館

〒561-0834 豊中市庄内栄町 5 丁目 4 番 14 号 電話(FAX 兼用): 06-6334-2551

E-MAIL: siryoukan@city.toyonaka.osaka.jp

会場について

大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 豊中市待兼山町 1-13

電話:06-6850-6284 お問い合わせフォーム:

https://www.museum.osaka-u.ac.jp/guide/inquiry





5. サイエンスカフェ@公民館

期 間:サイエンスカフェ@公民館

2024年1月20日 (土) カフェ No. 172 1月27日 (土) カフェ No. 173 2月3日 (土) カフェ No. 174 2月10日 (土) カフェ No. 175 2月24日 (土) カフェ No. 176 3月2日 (土) カフェ No. 177

主 催:大阪大学総合学術博物館、豊中市立中央公民館

2008 年度から、大阪大学で行われている最新の研究を広く社会に紹介するとともに、普段、接する機会の少ない専門家と一般の方々の間のコミュニケーションの場となることを目指して「サイエンスカフェ@待兼山」を豊中市と連携して開催し、文系、理系を問わず様々な分野のテーマを扱ってきた。2016 年度からは、豊中市立中央公民館との共催で、「サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館」を実施してきたが、2020 年度および 2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「サイエンスカフェ@待兼山」(オンライン)のみの開催となった。2022 年度は「サイエンスカフェ@豊中市立中央公民館」及び「サイエンスカフェ@オンライン」を開催した。両講座ともに現在では総合学術博物館のイベントとして定着し、幅広い年代に参加していただいている。

2023年度は全ての講座を、豊中市立蛍池公民館及び豊中市立庄内公民館にて対面で実施し、家族や友人と一緒に参加される方や高校生の姿もあり、毎回多くの質問が寄せられ、会場が大いに盛り上がった。

サイエンスカフェの実施状況:

2008年度	前期	カフェ No. 1~ 13	実施13回
	後期	カフェ No. 14 \sim 27	実施14回
2009 年度	前期	カフェ No. 28 ~ 37	実施10回
	後期	カフェ No. 38 ~ 46	実施 9回
2010年度	前期	カフェ No. 47 \sim 55	実施 9回
	後期	カフェ No. $56 \sim 65$	実施10回
2011 年度	前期	カフェ No. $66 \sim 80$	実施15回
	後期	カフェ No. 81 ~ 88	実施 8回
2012 年度	前期	カフェ No. 89 ~ 99	実施 11 回
	後期	カフェ No.100 \sim 107	実施 8回
2013年度	前期	カフェ No.108 ~ 112	実施 5回
	後期	カフェ No.113 ~ 116	実施 4回
2014 年度	通年	カフェ No.117 \sim 126	実施10回
2015年度	通年	カフェ No.127 ~ 134	実施 8回
2016年度	通年	カフェ No.135 ~ 141	実施 7回
		カフェ No.C-1 \sim C-3	実施 3回
2017年度	通年	カフェ No.142 \sim 147	実施 6回
		カフェ No.C-4 \sim C-6	実施 3回
2018 年度	通年	カフェ No.148 ~ 151	実施 6回
		カフェ No.C-7 \sim C-9	実施 3回
2019 年度	通年	カフェ No.152 \sim 153	実施 2回
		カフェ No.C-10~ C-11	実施 2回
2020年度	通年	カフェ No.157 \sim 161	実施 5回
2021 年度	通年	カフェ No.162 ~ 166	実施 5回
2022 年度	通年	カフェ No.167 \sim 171	実施 5回
2023 年度	通年	カフェ No.172 \sim 177	実施 6回

サイエンスカフェ@公民館

(2024年1月20日~2024年3月2日 No.172~177)

	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
No	No. 実施日	タイトル	要。旨		
INO.	天旭口	コーディネーター	女 目		
172	1/20(土)	洛中洛外図屏風でみる人 と水辺の風景:水の教材 を使って楽しく学ぼう!	人間が生活する上で欠かせない水。室町時代の人々はどのように水と生きていたのでしょうか。ARアプリ教材を用いて、京都市中を書いた洛中洛外図屛風を例に、室町の水と人々の風景を体験しましょう。水と生きた風		
		堀 さやか 氏	景、そして忘れられた風土が蘇ります。		
173	1/27(土)	新しい育種技術:ゲノム 編集ってなんだろう	育種は目標の設定、遺伝資源の探索・拡大、選抜などの過程を経て、目的の形質をもった作物を作り出すプロセスです。最近、新しい技術:ゲノム編集によって作り出された作物が日本でも登場してきています。この講演では、育種・ゲノム編集の基礎を解説するとともに、コーディネーターが		
		安本 周平 氏	開発を進めているゲノム編集ジャガイモについて紹介します。		
174	2/3 (土)	中東の空と飛行機	旅客航空業界での進出めざましい中東の航空会社、UAEのエミレーツ航空とカタールのカタール航空の例を中心に紹介し、中東におけるハブとなるドバイ、ドーハの空港や路線戦略を紹介します。イスラーム圏ならではの機内サービスの仕方やスポンサーシップとリンクしたビデオ映像など、両社は競合しつつ、確実にアジアからヨーロッパ、アフリカへと集客を展開しています。同時に、中東地域の国交関係によって就航や便数が大きく		
		近藤 久美子氏	変化する危うさについてもみてゆきます。		
175	2/10(土)	街を歩けば歴史が見える 一大阪市内のフィールド ワークから一	日本近代史が専攻ですが、街を歩くことが好きで、折にふれてフィールドワークを行い、市民の方々と街歩きしてきました。大阪は開発され尽くしたようですが、その裏に現在では失われた過去の痕跡が隠されています。今回は大阪市を舞台とし、川跡などの地形や鉄道構築物を観察しながら地		
		船越 幹央	図・資料と照らし合わせ、歴史的な考察をめぐらせます。		
176	2/24(土)	生物はどのようにして 『季節』を感じ取ってい るのか?	日本などの温帯地域には四季が存在し、季節に応じて外部の環境が劇的に変化します。野外の生物はこのような季節変化に適切に対応していますが、どのようにして季節の移り変わりを正確に読み取っているのでしょうか? 今回の講演では、約1日(24時間)リズムを刻む体内時計を用いて、こ		
		長谷部 政治 氏	今回の講演では、約1日(24 時间) リスムを刻む体内時間を用いて、この季節変化に対応するメカニズムについてご紹介します。		
177	3/2 (土)	毛をつくる幹細胞の発生 起源を知る	生涯にわたって毛が生えるのは、毛を産生する毛包という器官に組織幹細 胞が維持され、毛の形成に重要な細胞を供給しつづけてくれるからです。 私たちの体の中で組織や器官のメンテナンスに働く幹細胞が、胎児期にど		
		森田 梨津子氏	こからどのように生みだされるのか、その仕組みの一旦をご紹介します。		

研究の世界をあじわおう

各回共通

時 間:14:00~15:30(13:45 開場)

定員: 各回30名

参加無料

大阪大学総合学術博物館と豊中市立中央公民館が開催するサイエンスカフェでは、大阪大学に所属する研究者の取組みをわかりやすくご紹介します。どなたさまも、カフェに来るような気分でお気軽にご参加ください。(詳細は裏面をご覧ください)

2024年

20 (±)

会 蛍池公民館場 第1集会場

NO.172

洛中洛外図屏風でみる人と水辺の風景: 水の教材を使って楽しく学ぼう!

講師 堀 さやか 工学研究科・助教

NO.173

新しい育種技術:ゲノム編集ってなんだろう

講師 安本 周平 工学研究科・助教

¹/_{27 (±)}

会 庄内公民館 場 視聴覚室

2 3 (±)

会 庄内公民館場 視聴覚室

NO.174 中東の空と飛行機 講師 近藤 久美子

人文学研究科・教授

NO.175

街を歩けば歴史が見える 一大阪市内のフィールドワークから―

講師 船越 幹央 総合学術博物館・副館長

2/

10 (±)

会 庄内公民館 場 視聴覚室

2 24 (±)

会 庄内公民館場 視聴覚室

NO.176

生物はどのようにして『季節』を感じ取っているのか?

講師 長谷部 政治

理学研究科・助教

NO.177

毛をつくる幹細胞の発生起源を知る

講師 森田 梨津子

生命機能研究科・准教授

 $\frac{3}{2}$ (±)

会 庄内公民館場 視聴覚室

主催:大阪大学総合学術博物館

豊中市立中央公民館

会場

蛍池公民館 第 1 集会場 (ルシオーレビル A 棟 5 階)

阪急宝塚線蛍池駅・大阪モノレール蛍池駅西側すぐ

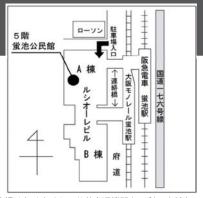
2024年1月20日(土)

NO.172

洛中洛外図屏風でみる人と水辺の風景: 水の教材を使って楽しく学ぼう!

講師:堀さやか 工学研究科・助教

※スマートフォン、ipad 等をお持ちの方はご持 参ください。貸出用も数台準備しております。 人間が生活する上で欠かせない水。 室町時代の人々はどのように水と 生きていたのでしょうか。AR アプリ教材を用いて、京都市中を書い た洛中洛外図屏風を例に、室町の 水と人々の風景を体験しましょう。 水と生きた風景、そして忘れられ た風土が蘇ります。



蛍池公民館の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。 お車でお越しの場合、ルシオーレビルまたは蛍池周辺の有料駐車場をご利用ください。



庄内公民館 視聴覚室 (庄内コラボセンター内)

阪急宝塚線庄内駅から南西に約600メートル

2024年1月27日(土)

NO.173

新しい育種技術:ゲノム編集ってなんだろう

講師:安本 周平 工学研究科・助教

育種は目標の設定、遺伝資源の探索・拡大、 選抜などの過程を経て、目的の形質をもいた 作物を作り出すプロセスです。最近、新した 技術:ゲノム編集によって作り出された作物 が日本でも登場してきています。この講演と は、育種・ゲノム編集の基礎を解説するとい もに、コーディネーターが開発を進めていす ゲノム編集ジャガイモについて紹介します。

2024年2月3日(土)

NO.174 中東の空と飛行機

講師:近藤 久美子 人文学研究科·教授

旅客航空業界での進出めざましい中東の航空会社、UAEのエミレーツ航空とカタールのカタール航空の例を中心に紹介し、中東におからなるドバイスラーム圏ならでといっているでは、アーム圏など、下ーム圏など、下の世界をは、アジアからコースの仕方やスポンサーシップとのでは、アジアからコースは、アースの世界を展開しています。同時に大きなど、ロッパ、、、との大きを展開して、対したにアジアからます。同時によって就航や便数が大きる危うさについてもみてゆきます。

2024年2月10日(土)

NO.175

街を歩けば歴史が見える

―大阪市内のフィールドワークから―

講師: 船越 幹央 総合学術博物館·副館長

日本近代史が専攻ですが、街を歩くことが好きで、折にふれてフィールドワークを行い、市民の方々と街歩きしてきました。大阪は開発され尽くしたようですが、その裏に現在では失われた過去の痕跡が隠されています。今回は大阪市を舞台とし、川跡などの地形や鉄道構築物を観察しながら地図・資料と照らわせ、歴史的な考察をめぐらせます。

2024年2月24日(土)

NO.176

生物はどのようにして 『季節』を感じ取っているのか?

講師:長谷部 政治 理学研究科・助教

日本などの温帯地域には四季が存在し、季節に応じて外部の環境が 劇的に変化します。野外の生物は このような季節変化に適切に対応 していますが、どのようにして季



駐車場には限りがございます。できるだけ公共交 通機関をご利用ください。

節の移り変わりを正確に読み取っているのでしょうか? 今回の講演では、約1日(24 時間)リズムを刻む体内時計を用いて、 この季節変化に対応するメカニズムについてご紹介します。

2024年3月2日(土)

NO.177 毛をつくる幹細胞の発生起源を知る

講師:森田 梨津子 生命機能研究科·准教授

生涯にわたって毛が生えるのは、毛を産生する毛包という器官に組織幹細胞が維持され、毛の形成に重要な細胞を供給しつづけてくれるからです。私たちの体の中で組織や器官のメンテナンスに働く幹細胞が、胎児期にどこからどのように生みだされるのか、その仕組みの一旦をご紹介します。

お申込み方法

以下のサイト、または右の二次元 バーコードからお申し込みください

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/shisetsu/koumin_library/chuo/chuo_event/index.html

受付:2024年1月5日(金)9時から

- ※ 定員に達し次第締め切ります。
- ※ ご入力いただいた個人情報は本イベントのみに使用し、適切に 管理します。



☎お問い合わせ

申し込み方法・会場について→豊中市立中央公民館

〒561-0802 豊中市曽根東町 3-7-3 TEL: 06-6866-0555

内容について→大阪大学総合学術博物館

〒560-0043 豊中市待兼山町 1-20 TEL: 06-6850-6284

6. 体験!こどもミュージアム@大阪大学

期 間:2023年8月22日(火)~24日(木)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室

主 催:大阪大学総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館

後 援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会

小学生の子どもたちに、様々な分野に対する興味や関心を持ってもらうことを目指して「体験!こどもミュージアム@大阪大学」を開催した。2023 年度は株式会社新興出版啓林舘と共同主催、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会からの後援を得て開催した。小学校3~6年生対象を対象に、先着順で参加者公募を行った。いずれも実験・実演を交えた体験型授業を行い、参加した子どもたちからも好評であった。

(当日の参加者数は延べ58名、保護者含まず)



「超低温の世界 ~いろんなものを冷やしてみよう~」



「スーパーボールロケット・信号反応」



「偏光で調べる光のふしぎ」

授業内容

8月22日(火)

タイトル:「超低温の世界 ~いろんなものを冷やしてみよう~」

講師: 辻野博文 (大阪大学ミュージアム・リンクス 准教授)

参加人数:18人

概 要:水は冷やすと凍り、温めると蒸発します。これは、水を形作っている小さな

粒(分子)のふるまいが温度によって大きく変わるためです。-196℃の液体窒素を使って、いろいろなものを冷やしてみて、そのふるまいを観察してみましょう。冷やされたものは、みなさんの予想通りのふるまいをするでし

ようか!?

8月23日(水)

タイトル:「スーパーボールロケット・信号反応」

講 師: 十河 秀敏 氏(箕面自由学園・教育顧問)

参加人数:20人

概 要:スーパーボールロケット

スーパーボールに取り付けたロケットだけが高く飛び上がります。手に持ったスーパーボールロケットがもつ高さのエネルギー(位置エネルギー)は、地面と衝突するとロケットの速度のエネルギー(運動エネルギー)に変換されます。科学的に解き明かしていこう。

信号反応

普通、色が変わる実験は色が変わるとそれきりです。今回の実験は、時間によって、黄や赤や緑に、色が変わっていく実験です。そんな不思議な実験に挑戦しよう。

8月24日(木)

タイトル:「偏光で調べる光のふしぎ」

講師: 宮久保 圭祐 (大阪大学ミュージアム・リンクス 准教授)

参加人数:20人

概 要:私たちがものを見るときに欠かせない光は、ゴム糸を指ではじいたときに見られるような、よこ波(光の進む向きと直角に何かが振動する)の性質を持

っています。この性質は身近ないろいろなところで用いられていますので、

偏光シートを使って光ともののかかわりについて考えてみましょう。

2023 体験: 3050 終加者 無料 無料

@大阪大学

対象:小学3~6年生

定 員:各コースとも20名

大阪大学 公式マスコットキャラクター ワニ博士



超低温の世界

~いろんなものを **冷**やしてみよう~ **コース**2

スーパーボールロケット



コースほ

偏光で調べる

光のふしぎ



※コースの詳細は 裏面をご覧ください

8月22日(火) 14:00~15:30

8月23日(水) 14:00~15:30

講師 箕面自由学園・教育顧問

十河 秀敏

8月24日(木) 14:00~15:30

無師 大阪大学 ミュージアム・リンクス 准教授宮久保 圭祐

とこる: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室

豊中市待兼山町1-20(大阪大学豊中キャンパス内)(阪急宝塚線・石橋阪大前駅より徒歩約10分)

主 催:大阪大<mark>学総合学術博物館・株式会社新興出版社啓林館</mark> 後 援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会



大阪大学総合学術博物館

https://www.museum.osaka-u.ac.jp/



株式会社新興出版社啓林館

https://www.shinko-keirin.co.jp/

コース 1

8月22日(火)

14:00~15:30



てい おん

超低温の世界

~いろんなものを冷やしてみよう~

水は冷やすと凍り、温めると蒸発します。これは、水を形作っている小さな粒(分 子)のふるまいが温度によって大きく変わるためです。-196℃の液体窒素を 使って、いろいろなものを冷やしてみて、そのふるまいを観察してみましょう。冷 やされたものは、みなさんの予想通りのふるまいをするでしょうか!?

(講師) 大阪大学 ミュージアム・リンクス 准教授 辻野 博文

20名

ロケット

スーパーボールに取り付けたロケットだけが高く飛び上 がります。手に持ったスーパーボールロケットがもつ高 さのエネルギー(位置エネルギー)は、地面と衝突すると ロケットの速度のエネルギー(運動エネルギー)に変換 されます。科学的に解き明かしていこう。

しん ごう はん のう 信号反応 普通、色が変わる実験は色が変わるとそれきりです。 今回の実験は、時間によって、黄や赤や緑に、色が変わっ ていく実験です。そんな不思議な実験に挑戦しよう。

講師 箕面自由学園・教育顧問 十河 秀敏



コース 3

8月24日(木)

14:00~15:30



偏光で調べる光のふしぎ

私たちがものを見るときに欠かせない光は、ゴム糸を指ではじいたときに見ら れるような、よこ波(光の進む向きと直角に何かが振動する)の性質を持って います。この性質は身近ないろいろなところで用いられていますので、偏光シー トを使って光ともののかかわりについて考えてみましょう。

(講師) 大阪大学 ミュージアム・リンクス 准教授 宮久保 圭祐

申込方法

https://reserva.be/kyousuiseminar3

(お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません。)



申込開始日: **7月24日 月** 10:00

申込締切日: **8月10日 休 17:00**



対象:小学3~6年生

※必ず保護者の方同伴で参加をお願いします。

●保護者の方へ ※ご来館の際には、公共交通機関をご利用ください。 ※保護者の方は、見学のみでお願いします。

交通のご案内



阪急宝塚線 「石橋阪大前駅」 下車 徒歩 10分

※公共交通機関をご利用ください。

<問合せ先>



〒 560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-20 TEL. 06-6850-6284

定員 20名

定員

20名

7. 2023~繋げる・拡げる~わくわく学習教室

with Osaka University

期 間:2023年11月25日(土)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室

主 催:株式会社新興出版社啓林館、大阪大学総合学術博物館

後 援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会

小学生を対象とした体験型講座として「~繋げる・拡げる~わくわく学習教室 with Osaka University」を開催した。本企画は、株式会社振興出版社啓林館が CSR 活動として実施している「~繋げる・拡げる~わくわく学習教室」を、大阪大学を会場とし、本館と共催して行った企画であり、今回で3回目の開催となる。開催にあたっては、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会からの協力を得た。

小学校 3・4・5・6 年生を対象とした講座はいずれも実験・実演を交えた体験型授業で、子どもたちが参加できるイベントとなった(当日の参加者数は延べ 30 名、保護者含まず)。



「粉末粘土で電球に明かりをつけよう ~STEAM 教育を体験しよう~」



「ホタルの光のひみつ」

授業内容

コース①

タイトル:「粉末粘土で電球に明かりをつけよう

~STEAM 教育を体験しよう~」

講師: 萩原憲二氏(大阪青山大学子ども教育学部子ども教育学科教授)

参加人数:15名

概 要:STEAM 教育とは、科学、技術、工学、芸術、数学の5つのことを一緒に学ぶ

方法です。

今回は、米粉で粘土を作って、それに電球をつないで明かりをつけることに 挑戦します。理科の知識や粘土をうまく作る技術や使いやすく、楽しくなる ように物作りを工夫していきます。プログラミング機器も使って、明かりを 美しく光らせましょう。

みんなの個性を出し合って活動する中で、いろいろな能力を自然と身に付けてください。

コース②

タイトル:「ホタルの光のひみつ」

講師:豊田 二郎(大阪大学 ミュージアム・リンクス 准教授)

参加人数:15名

概 要:「お兄ちゃん、なんでホタルすぐ死んでしまうん?」ホタルを素手でとった ことがありますか?

> 熱かったでしょうか?アニメ映画「火垂るの墓」でしかホタルを知らない人 も多いかもしれません。

> ホタルが光るしくみとまったく同じことを、試験管の中で行い、電灯とは違う光(化学発光)の性質と酵素反応について調べます。





株式会社新興出版社啓林館 https://www.shinko-keirin.co.jp/



わくわく学習教室

With Osaka University

ふんまつねんど でんきゅう

粉末粘土で電球に崩かりをつけよう

マSTEAM教育を体験しよう~

STEAM教育とは、科学、技術、工学、芸術、数学の5つのことを一緒に学ぶ方法です。今回は、米粉で粘土を作って、それに電球をつないで明かりをつけることに挑戦します。理科の知識や粘土をうまく作る技術や使いやすく、楽しくなるように物作りを工夫していきます。プログラミング機器も使って、明かりを美しく光らせましょう。みんなの個性を出し合って活動する中で、いろいろな能力を自然と身に付けてください。

講師

大阪青山大学 子ども教育学部 子ども教育学科 教授

萩原 憲二

コース**2** 15:00 ~ 16:30

ホタルの光のひみつ





「お兄ちゃん、なんでホタルすぐ死んでしまうん?」ホタルを素手でとったことがありますか?熱かったでしょうか?アニメ映画「火垂ほたるの墓」でしかホタルを知らない人も多いかもしれません。ホタルが光るしくみとまったく同じことを、試験管の中で行い、電灯とは違う光(化学発光)の性質と酵素反応について調べます。

講師

大阪大学 ミュージアム・リンクス 准教授

豊田 二郎

申し込み方法

下記URL、もしくは右の二次元バーコードより お申し込みください。

https://wakuwakukeirinkan.peatix.com

※コース①、コース②の両コースともご受講いただきます ※お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません



申込開始日

2023年 11月 6日 月 10:00~

^{応募は} **先着順** です。

対象: 小学校 3 年生 ~ 6 年生

※必ず保護者の方同伴で参加をお願いします。

●保護者の方へ ご来館の際には、公共交通機関をご利用ください 保護者の方は、見学のみでお願いします。

交通のご案内



みんなの参加 まってるよ!



阪急宝塚線 「石橋阪大前駅」 下車 徒歩 10分

※公共交通機関をご利用ください

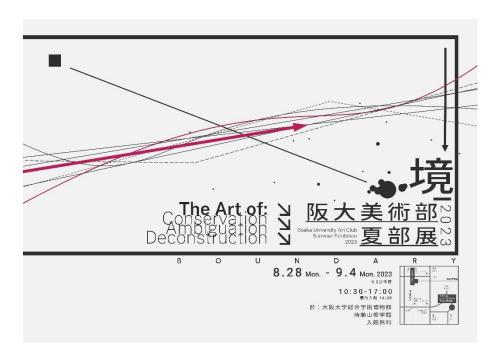
株式会社新興出版社啓林館 第3教育推進部

〒543-0052 大阪市天王寺区大道4-3-25 TEL:06-6775-6517

8. 大阪大学美術部 夏部展 2023

- 「境 | -

Osaka University Art Club Summer Exhibition 2023 "Boundary"



期 間:2023年8月28日(月)~9月4日(月)

会 場:美術部ホームページにて展示

http://hanbi.main.jp/

大阪大学美術部は 2023 年、3 年ぶりとなる大阪大学総合学術博物館での夏部展を開催致します。この3年間、私たちを対面での展示会実施から遠ざけたのは、コロナ禍でした。-コロナ禍で見えてきたもの。それは人と人との境ではないでしょうか。人と人、国と国、社会と社会、文化と文化、そこには目に見えない境が存在しています。分断を招き、対立を呼ぶ境の存在を、考える必要があるのではないでしょうか。おそらく私たちは、境について、それを創造し、守りながら、その存在を疑い、曖昧さに気付いて、そしてエネルギーをもって壊し、そしてまた新しい世界を構築する、という過程を辿っているのではないでしょうか。この繰り返すプロセスをヒントに、大阪大学美術部員が考える境を力強く表現します。芸術の訴えかけるものを体感してください。

【展示概要】

第I章「曖昧になる境」

そこに境は存在するのか。- 境の存在を疑います。境界があると言われている。だからあるはずなのにそれがはっきりしない、7色の虹、夜から朝、植物と動物、国と国、マイノリティとマジョリティ。人間は何処かに線引きをしているつもりですが、実はよく考えてみると、その境はぼやけたものかもしれません。それはちょうどさまざまな色がグラデーションを作り出すように。

第Ⅱ章「崩壊する境」

境は本当に必要か。- 境の存在を問いなおします。既存の、人工の、形作られた境を取り払ってみます。そこに作り出された境は、私たちにどのような影響を与えるのでしょうか。 それは必ずしも分かりやすくて良いものばかりとは限りません。時には境を壊す、破壊するという力を求められるかもしれません。こうして崩される境と、それを壊すエネルギーとを体感しましょう。

第Ⅲ章「創造する境」

境は無くなるべきなのか。- 境の存在を直視します。境は目に見えなくても、不都合であっても、心の中に存在するのです。敢えて作り出されているのです。自ずと生み出されているのです。守られているのです。自然、そして人間に境を作らしめているものは一体何でしょう。境を利用すれば何ができるのでしょう。いっそのこと、その境を楽しんでみるのも一興かもしれません。

第IV章「異境」

境を越えたその先に。- 境の意味を転換します。ここは部員の自由な想像の世界。魔境であり、秘境であり、辺境であり、仙境かもしれません。境を生み出し、その存在を疑い、壊し、越境していく。その先に開かれた場所とは一体どのような世界なのでしょう。この世界にはまだ、境があるのでしょうか。それとももう、境は存在しないかもしれません。美術部の想像力と創造力が結集し生まれたこの異境を堪能しましょう。

* * * * * * * * * * * * *

9. 大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター コラボレーション企画 豊中市立小中学生 理科展 サテライト展示

期 間:2023年12月9日(土)~12月16日(土)

会 場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館3階セミナー室

主 催:大阪大学総合学術博物館

共 催:豊中市教育委員会/豊中市教育センター

後 援:豊中市

【展示概要】

大阪大学総合学術博物館では、豊中市立小中学生理科展に出品された作品の中で、特に優秀な作品を選び表彰しています。今年の豊中市立学校理科展に出品された児童・生徒の自由研究作品約162点から選ばれた優秀作品12点を大阪大学総合学術博物館で展示しました。

【受賞作品】

- ・どんなもようがすべらないのか (大阪府学生科学賞 最優秀作品 大阪市長賞・大阪大学総合学術博物館長賞)
- ・透明と屈折の美しい世界 (南部陽一郎賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・空の紫はなぜ見たまま思うようにデジタルカメラに映らないのか (大阪大学総合学術博物館長賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・何色に変わる?(Ⅱ)~35 匹の青虫たちの生存戦略~ (大阪大学総合学術博物館待兼山賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・千里川周辺のプランクトンの生態 (大阪大学総合学術博物館待兼山賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・雲は作れるのか? (豊中市教育センターあすなろ賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・かんたん防音対策~身近なもので防音するには?~ (豊中市教育センターあすなろ賞・大阪府学生科学賞佳作)
- ・3 つの風船うくかな実験 (大阪府学生科学賞佳作)

- ・味覚大実験~「におい」と「温度」の与える影響~ (大阪府学生科学賞佳作)
- ・イソヒヨドリの子育て日記 (大阪府学生科学賞佳作)
- ・マグヌス (マグナス) 効果について調べる (大阪府学生科学賞佳作)
- ・トウガラシは体温を上げれる? (大阪府学生科学賞佳作)

大阪大学 総合学術博物館・ 豊中市教育センター コラボレーション 企

曹中市立学校理科展

动导引化病病

今年の豊中市立学校理科展に出品された

児童・生徒の自由研究作品162点から選ばれた ゆうしゅうさくひん 優秀作品12点を大阪大学総合学術博物館で展示します!

会場

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室

入場無料

作品展示

²⁰²³ 12/9_⊕~12/16_€

開館時間 10:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで) (10日(日)は休館)

大阪大学 公式マスコットキャラクター 「ワニ博士」



問合せ先 〒 560-0043

大阪府豊中市待兼山町 1-13 大阪大学総合学術博物館

Tel. 06-6850-6714

アクセス 阪急電鉄 宝塚線 石橋阪大前駅 (徒歩10分)

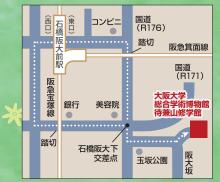


大阪大学総合学術博物館

https://www.museum.osaka-u.ac.jp

主催:大阪大学総合学術博物館

共催:豊中市教育委員会/豊中市教育センター 後援:豊中市



▲会場アクセス MAP

※ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

豊中市立学校理科展 サテライト展示

大阪大学総合学術博物館では、豊中市立学校理科展に出品された作品の中で 特に優秀な作品を選び、表彰をしています。今回、展示されている作品は 以下の各賞を受賞された作品です。子供たちの努力の結晶をどうぞご覧ください。



大阪大学総合学術博物館長賞

どんなもようが すべらないのか



空の紫はなぜ 見たまま思うように デジタルカメラに 映らないのか



大阪大学総合学術博物館待兼山賞

何色に変わる?(Ⅱ) ~35匹の青虫たちの生存戦略~ 千里川周辺の







大阪府学生科学賞 作品名

- 雲は作れるのか?
- 🎙 何色に変わる?(II) ~35匹の青虫たちの生存戦略~
- 3つの風船うくかな実験
- どんなもようがすべらないのか
- 。味覚大実験 ~「にあい」と「温度」の与える影響~
- ●イソヒヨト"リの子育て日記

- ◎透明と屈折の美しい世界
- 🥊 マグヌス(マグナス)効果について調べる
- 空の紫はなぜ見たまま思うように デジタルカメラに映らないのか
- ९千里川周辺のプランクトンの生態
- かんたん防音対策~身近なもので防音をするには?~
- トウかラシは体温を上げれる?



豊中市



10. 教員活動報告

2023 年度 教員実績表

(2023年4月1日~2024年3月31日)

長 河原 源太 館 副館長 船越 幹央 【研究・教育部】 資料基礎研究系 准 教 授 辻野 博文 豊田 二郎 資料先端研究系 准教授 宮久保圭祐 准教授 資料情報研究系 准 教 授 横田 洋 【資料部】 講 師 伊藤 謙

総合学術博物館 館長 教授 河原 源太

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春夏学期・基礎工学部・3年次	熱工学 B
春夏学期・大学院基礎工学研究科	乱流力学特論
秋冬学期・基礎工学部・2年次	熱工学 A

学生指導

学生数 (留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
18 名	2名	2名

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
Homoclinic bifurcation and switching of edge state in plane Couette flow	Julius Rhoan T. Lustro, Yudai Shimizu, Genta Kawahara	Chaos	33 • 6 • 063112	2023 年 6 月

その他の執筆活動 (総説、評論、辞典項目、各種記事など)

タイトル等	報道機関名	報道年月
Editorial The 16th FDR prize	Fluid Dynamics Research	2023年 10月
巻頭言 第 16 回 FDR 賞	ながれ	2023年8月

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
基盤研究 B「乱流熱輸送における究極状態の実現ー	河原源太	2022 年~2023 年	継続
メカニズムの解明と実証」	何	2022 4, 22023 4	不 还形化
ダイキン工業との包括連携協定に基づく研究プロ	河原源太	2022 年~2023 年	新規
ジェクト「究極熱伝達の実現と実装」	何尿像太	2022 4 ~ 2023 4	材烧

【社会貢献、管理運営等】

学外各種委員等(地方公共団体や学協会など)

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本流体力学会	理事	2023 年	新規
関西 SDGs プラットフォーム	運営委員	2023 年	継続
いのち会議	実行委員	2023 年	新規

総合学術博物館 副館長 教授 船越 幹央

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春夏学期・秋冬学期・全学教育推進機構	大阪大学の歴史(緒方洪庵・適塾入門)
通年・文学部・2、3、4年	博物館学(学内実習)

【研究活動】

学術論文

論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行年月
歴史的な視点を重視した街歩きの方法	加大北北	大小兴 左却	 	0004 /5 0 日
論一大阪市内での事例を通して一	船越幹央	文化学年報	第 73 輯、407~431 頁	2024年3月

学術講演会など

講演タイトル	場所	年月日	備考
明治後期から昭和初期における都市郊外の発展ー北	池田市立地域		
摂地域を中心に一	活動交流セン	2024年2月17日	
	ター		

研究 (学会) 発表など

タイトル	場所	年月日	備考
常設展の魅力向上にかかる調査について	長崎県美術館	2023年7月19日	
歴史研究におけるフィールドワーク論の構築に向け	大阪大学総合	2023年12月22日	
て -北新地を例として-	学術博物館	2023 平 12 月 22 日	

報道

タイトル	場所	年月日	備考
NHK「ブラタモリ」大阪梅田編 出演		2023年6月10日	
産経新聞「歴史に埋もれた京街道の起点」コメント掲載		2023年8月10日	
毎日放送「よんチャン TV」阪神タイガース優勝と戎橋		2023年9月14日	
コメント出演		2023 平 9 月 14 日	
NHK「ほっと関西」キタ・ミナミってどこ? コメント		2023 年 11 月 15 日	
出演		2023 平 11 月 15 日	
日本経済新聞「自由と進取 大阪の礎」コメント掲載		2023年12月7日	
毎日放送「よんチャン TV」梅田の地下街 コメント出演		2024年1月26日	

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
シンポジウム「大阪的って何? 水辺から考えるアート・おおさか・大阪暮らし」	中之島会館	大阪大学総 合学術博物 館、大阪市コ ミュニティ 協会	2023年9月9日
「発見!うちのまち 浪花百景タペストリー展」 ミニ解説	大阪市北区民センター	北区民セン ター、大阪市 コミュニティセンター、 大阪市コミ カニティ協 会	2023年11月5日
サイエンスカフェ 「街を歩けば歴史が見えるー大阪市内のフィー ルドワークからー」	豊中市立庄内公民館	大阪大学総 合学術博物 館、豊中市立 中央公民館	2024年2月10日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
福岡県立八幡高等学校(11 名)	2024年3月26日	

学内の各種委員等

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
適塾記念センター兼任教員	2023年4月		新規
総合図書館運営委員会委員	2023年4月		新規
総合図書館図書選定小委員会委員	2023年4月		新規
適塾みらい委員会委員	2023年8月		新規

学外各種委員等 (地方公共団体や学協会など)

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本博物館協会 博物館研究編集委員会	編集委員	2018 年~	継続
西淀川公害と環境資料館エコミューズ 運営協議会	委員	2011 年~	継続
北区民カーニバル事業業務委託先選定会議	選定委員	2023 年	新規

【教育活動】

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春学期・薬学研究科博士前期課程	Current Topics 1
夏学期・薬学部	分析化学3
夏学期・薬学研究科博士前期課程	生物物理化学特論
春~夏学期・薬学部	製剤サイエンス
春~夏学期・薬学部	基礎実習 2
春~夏学期・全学教育推進機構	大阪大学の歴史
秋~冬学期・薬学部	基礎実習 1
秋~冬学期・全学教育推進機構	大阪大学の歴史
集中・薬学研究科博士前期課程	法臨床中毒学
年度跨り・薬学部	長期課題研究
通年・薬学研究科博士前期課程	創成薬学ゼミナール 2
通年・薬学研究科博士前期課程	特別演習

学生指導

学生数 (留学生含む)	留学生数	共同・分担した指導教官人数
8名		

学位論文審査等

学位申請者および論文名	主査・副査の別
前田峻作 修士論文「脂肪肝モデル脂質ナノディスクにおける CYP2C9 代	主 杳
謝活性に与えるコレステロールの影響」	土宜
西田朱里 修士論文「ROS 反応性の改変を目指した、サイトグロビン変	主 杳
異体の創製とその評価」	土宜

学外での教育活動(集中講義等)

授業科目名	機関名 期間	
出張講義・実習	北野高校	2023年9月15日、19日

【研究活動】

学術論文

子們論又				3% / -
論文名	著者名	雑誌	号・巻・頁	発行 年月
Impact of Degradation of Polyethylene Particles on Their Cytotoxicity	Yudai Ikuno, Hirofumi Tsujino*, Yuya Haga, Haruyasu Asahara, Kazuma Higashisaka, Yasuo Tsutsumi* *corresponding author	Microplastics	2(2) 192-201	2023年
Fluorouracil exacerbates alpha-crystallin B chain-mediated cell migration in triple-negative breast cancer cell lines.	Lili Yang, Yuya Haga, Akihide Nishimura, Yuki Tsujii, Suzuno Tanahashi, Hirofumi Tsujino, Kazuma Higashisaka, Yasuo Tsutsumi	Scientific reports	13(1) 4010-4010	2023 年
Silver nanoparticles suppress forskolin-induced syncytialization in BeW@o cells	Yuji Sakahashi, Kazuma Higashisaka, Ryo Isaka, Rina Izutani, Jiwon Seo, Atsushi Furuta, Akemi Yamaki-Ushijima, Hirofumi Tsujino, Yuya Haga, Akitoshi Nakashima, Yasuo Tsutsumi	Nanotoxicology	16(9-10) 1-12	2023年
Absorption, fluorescence, and two-photon excitation ability of 5-phenyl-13-arylisoindolo[2,1-a]quinolines prepared by one-pot reaction of ring-closing metathesis and 1,3-dipolar cycloaddition	Avena Francisco Ramon, Yuki Wada, Hirokazu Ishii, Yuki Watakabe, Motosuke Tsutsumi, Kwangkyun Jang, Kohei Otomo, Lin Qiao, Yuki Fujii, Hirofumi Tsujino, Yasuo Tsutsumi, Tomomi Nemoto,	Dyes and Pigments	111118-111118	2023年

	Mitsuhiro Arisawa				
	Hiromasa Uchiyama,				
	Kazuho Ban, Shiho				
	,				
	Nozaki, Yui Ikeda,				
	Takayoshi Ishimoto,				
	Hiroyoshi Fujioka,				
	Mako Kamiya, Ryugo				
	Amari, Hirofumi				
	Tsujino, Masayoshi				
Impact of multiple H/D replacements on the	Arai, Sachi Yamazoe,	RSC medicinal	14(12)	2023 年	
physicochemical properties of flurbiprofen.	Keiko Maekawa,	chemistry	2583-2592	2023	
	Takuma Kato,				
	Mitsunobu Doi,				
	Kazunori Kadota,				
	Yuichi Tozuka,				
	Naohito Tomita,				
	Hironao Sajiki, Shuji				
	Akai, Yoshinari				
	Sawama				
マイクロ・ナノプラスチックのヒト健康影	Yasuo Tsutsumi,	YAKUGAKU	144(2)		
響の解明に向けて	Hirofumi Tsujino	ZASSHI	163-164	2024 年	
	Hirofumi Tsujino,				
	Yudai Ikuno, Yuya				
環境中の表面性状を模倣した劣化マイクロ	Haga, Haruyasu	YAKUGAKU	144(2)		
プラスチックの作製	Asahara, Kazuma	ZASSHI	171-175	2024年	
	Higashisaka, Yasuo				
	Tsutsumi				
	Yuya Haga, Sota				
	Manabe, Hirofumi				
 劣化したマイクロプラスチックが示す細胞	Tsujino, Haruyasu	YAKUGAKU	144(2)		
毒性機序の解明	Asahara, Kazuma	ZASSHI	177-181	2024年	
	Higashisaka, Yasuo				
	Tsutsumi				
第一五回適塾講座の記録	辻野 博文	「適塾」	56 号	2024 年	
西洋薬のターゲット タンパク質研究	辻野 博文	「適塾」	56 号	2024 年	

研究 (学会) 発表など

タイトル	場所	年月日	備考
	日本薬剤学会第		
マクロファージとがん細胞の相互作用がフェ	38 年会., 名古	2023年5月	
ロトーシス促進剤の薬効に与える影響解析.	屋(愛知)		
化学療法剤抵抗性がん細胞の免疫逃避を介し た生存機構の解明.	日本薬剤学会第		
	38 年会., 名古	2023年5月	
	屋(愛知)		
リプルネガティブ乳がん細胞とマクロファー	第9回がんと代		
ジの共培養はフェロトーシス感受性を増強す	謝研究会., 松	2023年5月	
3.	山(愛媛)		
食品関連製品に含まれるナノマテリアルの神 経細胞分化への影響解析.	日本食品化学学		
	会第 29 回総会・	2020 F 6 F	
	学術大会.,富	2023年6月	
	山(富山)		
	日本食品化学学		
ナノマテリアル曝露が妊娠準備から着床期に	会第 29 回総会・	2022 /	
及ぼす影響評価.	学術大会.,富	2023年6月	
	山(富山)		
非晶質ナノシリカ曝露による胎盤炎症応答の 解析.	日本食品化学学		
	会第 29 回総会・	2022 年 6 日	
	学術大会.,富	2023年6月	
	山(富山)		
バルプロ酸が胎盤機能へ及ぼす影響評価.	第50回日本毒性		
	学会学術年会.,	2023年6月	
	横浜(神奈川)		
2	第50回日本毒性		
ベンゾピレン誘導性細胞老化ががん悪性転化	学会学術年会.,	2023年6月	
へ及ぼす影響.	横浜(神奈川)		
バルプロ酸が胎盤のトリプトファン輸送トラ ンスポーターに与える影響評価.	第50回日本毒性		
	学会学術年会.,	2023年6月	
	横浜(神奈川)		
非晶質ナノシリカ粒子の細胞内取り込みと経 鼻投与後の動態評価.	第50回日本毒性		
	学会学術年会.,	2023年6月	
	横浜(神奈川)		
ナノマテリアル曝露による合胞体化抑制のエ	第50回日本毒性		
ピジェネティックな観点からのメカニズム解	学会学術年会.,	2023年6月	
74,			

	T	
紫外光により劣化したマイクロプラスチック	第50回日本毒性	
はオートファジー依存的な細胞死を誘導する.	学会学術年会.,	2023年6月
	横浜(神奈川)	
ナノマテリアルの安全性確保に向けた胎盤細	第48回日本香粧	
胞合胞体化への影響解析.	品学会., 東京	2023年6月
	(東京)	
トリプルネガティブ乳がん細胞における 5-FU	第 39 回日本 DDS	
誘導性の細胞遊走と $lpha$ B-crystallin の連関解	学会., 千葉(千	2023 年 7 月
明.	葉)	
トリプルネガティブ乳がん細胞とマクロファ	第 39 回日本 DDS	
ージの共培養によってフェロトーシス促進剤	学会., 千葉(千	2023年7月
の薬効が増加する.	葉)	
	第 20 回次世代を	
15日 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	担う若手のための	2022 /5 0 日 21 日
脂肪肝モデルマウス由来脂質ナノディスクを用い	フィジカル・ファ	2023 年 8 月 31 日
た CYP/CPR の薬物代謝解析.	ーマフォーラム.,	-9月1日.
	京都	
	第 20 回次世代を	
	担う若手のための	
新規がん標的たんぱく質 IDO2 の機能解明.	フィジカル・ファ	2023 年 8 月 31 日
	ーマフォーラム.,	-9月1日.
	京都	
	第 20 回次世代を	
	担う若手のための	
フルルビプロフェン重水素置換薬物の CYP 代謝へ	フィジカル・ファ	2023年8月31日
の影響.	ーマフォーラム.,	-9月1日.
	京都	
新規抗がん剤開発を目的とした IDO2 の結晶構造解	第 96 回日本生化	2023年10月31日
析.	学会大会., 福岡	-11 月 2 日
脂質ナノディスクを用いた薬物代謝への脂質影響	第73回日本薬学	
解析-脂肪肝モデルマウス由来ナノディスクを用い	会関西支部総会・	2023年10月
た薬物代謝解析	大会., 大阪	
Mallal & . / hands and beatment to be	第73回日本薬学	
劣化したマイクロプラスチックの細胞内取り込み	会関西支部総会・	2023年10月
機構の解明に向けた検討.	大会., 大阪	
THE THE THE COLUMN TO SERVICE AND ADDRESS OF THE COLUMN TWO ADDRESS OF	第73回日本薬学	
活性酸素種(ROS)のシグナル伝達機能解明に向け	会関西支部総会・	2023年10月
た、高 ROS 消去サイトグロビン変異体 の創製.	大会., 大阪	
	<u> </u>	

Magraphagas agraph 11 interesting CC + C	EACD 2022	
Macrophages-cancer cell interaction affects ferroptosis	EACR 2023	1 2022
induction capability in triple-negative breast cancer	Congress, Torino	June, 2023
cells.	(Italy)	
	The 10 th	
	International	
Silver nanoparticles suppress forskolin-induced	Congress of Asian	July, 2023
syncytialization in BeWo cells.	Society of	
	Toxicology, Taipei	
	(Taiwan)	
	The 10 th	
	International	
Cellular uptake and distribution after intranasal	Congress of Asian	July, 2023
administration of amorphous silica nanoparticle.	Society of	July, 2023
	Toxicology, Taipei	
	(Taiwan)	
	The 10 th	
Investigation of the mechanisms of benzopyrene-induced cellular senescence in breast	International	
	Congress of Asian	
	Society of	July, 2023
cancer.	Toxicology, Taipei	
	(Taiwan)	
	The 10 th	
	International	
The mechanisms of autophagy-dependent cell toxicity	Congress of Asian	
caused by degraded microplastics.	Society of	July, 2023
	Toxicology, Taipei	
	(Taiwan)	
	57 th Congress of the	
	European Societies	
Valproic acid induces HIF-1α-mediated CGB expression	of Toxicology,	September, 2023
elevation and glucose uptake suppression in BeWo cell.	Ljubljana	
	(Slovenia)	
	AAPS 2023	
Valproic acid elevates HIF-1α-mediated <i>CGB</i> expression	PharmSci 360,	October, 2023
and suppresses glucose uptake in BeWo cells.	Orlando (USA)	
	AAPS 2023	
The effect and distribution of amorphous nanosilica	PharmSci 360,	October, 2023
particle in the brain and microglial cells.	Orlando (USA)	000001, 2023
	Orianuo (USA)	

	American College		
The Mechanisms of Degraded Microplastics-Induced	of Toxicology 2023	N	
Cell Toxicity.	Annual Meeting,	November, 2023	
	Orlando (USA)		

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
厚生労働科学研究費補助金 食品の安全確保推進研究			
事業	辻野 博文	2021 年度~	継続
「食品への混入が懸念されている環境中のマイクロプ	江邦 诗文	2023 年度	水压剂 化
ラスチックの表面性状に着目した安全性研究」			

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
2023 体験!こどもミュージアム@大阪大学・超低 温の世界~いろんなものを冷やしてみよう~	待兼山修学館	大阪大学総合学術 博物館・株式会社 新興出版社啓林舘	2023年8月22日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
トリアムウドムスックサー高等学校(35 名)	2023年10月30日	
大阪大学微生物病研究所(6名)	2023年7月18日	宮久保先生と共担

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
アーカイブズ運営委員会	令和2年10		継続
) 一別イノへ連貫安貝云	月		州 全形定
適塾記念センター兼任教員	令和3年		継続
ダイバーシティ&インクルージョンセンター	令和2年4		継続
会議委員及び兼任教員	月		州 本
「適塾」編集委員	令和5年		新規

学外各種委員等(地方公共団体や学協会など)

委員会名	役職	期間	継続/新規
日本薬学会物理系薬学部会	若手世話人	令和3年~	継続
毒物劇物取扱者試験委員(関西広域連合)	委員	令和5年~	新規
日本薬学会関西支部委員	委員	令和5年~	新規

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春学期・薬学部・1	化学基礎論 AI
夏学期・薬学部・1	化学基礎論 AII
夏学期・理・M1	核磁気共鳴分光学(I)

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
南開大学夏季短期日本留学生	2023年7月7日	
第 26 回 IUPAC 化学熱力学国際会議組織委員会	2023年8月2日	

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
部局 CSIRT 委員	2018年4月		継続
グローバル情報委員会委員長	2018年4月		継続
ミュージアム教育委員会委員	2023年4月		継続
豊中地区安全衛生委員会委員	2023年4月		継続

担当授業

学期・学部・学年	科目名
春夏学期・(理・経・工・外) 学部・1年	博物館への招待(学問の扉)
秋冬学期・工学部・1年	化学基礎論 B

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
大阪大学理学部化学科(80 名)	2023年4月15日	
大阪大学微生物病研究所(6名)	2023年7月18日	辻野先生と共担

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
湯川記念室運営委員会	2010年4月		継続

担当授業

学期・学部・学年	科目名		
通年・文学部・2、3、4年	博物館学(学内実習)		
冬学期・全学教育推進機構(大学院)	実践ミュージアムコミュニケーション学		
春~夏学期・文学部・2、3、4年	演劇学講義		
春~夏学期・文学部・2、3、4年	芸術環境論講義		
春~夏学期・人文学研究科・博士前期課程	演劇学講義		
春~夏学期・人文学研究科・博士前期課程	芸術環境論講義		
春~夏学期・人文学研究科・博士後期課程	演劇学特殊講義		
秋~冬学期・人文学研究科・博士前期課程	アート・プロデュース論演習		
秋~冬学期・人文学研究科・博士後期課程	アート・プロデュース論特殊演習		

学外での教育活動(集中講義等)

授業科目名	機関名	期間
映画の歴史	大手前大学	2022年9月~2023年3月

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
	千里文化センター	大阪大学21世紀	2024年3月23日
阪大ワニカフェ「映画の起源を考える」 	「コラボ」	懐徳堂	2024 午 3 月 23 日

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
在日インドネシア人留学生協会 大阪奈良支部(19名)	11月21日	

担当授業

学期・学部・学年	科目名
通年・文学部・3回生以上	博物館学(学内実習)
1回生	大阪大学の歴史
院生以上	芸術計画論
院生以上	芸術計画論演習

著書

著書名	著者名	出版社	頁数	発行年月
世界を動かした日本の銀	磯田道史、近藤	祥伝社	208	2023年5月1日
国外を動かした日本の城	誠一、伊藤 謙	干囚江	200	2023 4 3 7] 1 4

研究(学会)発表など

タイトル	場所	年月日	備考
大阪大学総合学術博物館資料部の活動	豊中地区研	2023年11月14日	
人伙人子松石子們 學物 時 貫 桴前 炒	究交流会	2023年11月14日	
	第18回日本		
創立 20 周年記念展「MOU 収蔵品展‐創立からも	博物科学会	2023年6月23日	
う 20 年−」を開催して	(北海道大	2023年6月23日	
	学)		

報道

タイトル	場所	年月日	備考
ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪~本当 の"知"は、裏にかくされている」ようこそ奥 深いウラの世界へ!	NHK	2023年5月31日	
謎解き!伝説のミステリー	テレビ朝日	2024年2月20日	

【共同研究および外部資金獲得状況】

科学研究費補助金およびその他の外部資金

補助金の種類および研究題目	研究代表者	期間	継続/新規
Multidisciplinary Science としての本草学の	代表	2023-2025	新規
再構成	1\x	2023-2023	村 万兄

【社会貢献、管理運営等】

講演会、サイエンスカフェ、ミュージアムレクチャーなど

講演名・題目	場所	主催者名	年月日
本草学がつむぐ未来研究~博物館からみる分	大阪府立茨木高	大阪府立茨木	9099年7日
野横断的研究~	等学校	高等学校	2023年7月

団体見学の説明等

団体名(人数)	説明日	備考
国立台湾大学理学部(10名)	2023年6月8日	
住友ゆうすい会	2023年7月25日	

委員会あるいは WG 名	就任年月	退任年月	継続/新規
豊中地区研究交流会委員会	2020年4月		継続

11. 資料

掲載項目

- ・2023年度の主な活動一覧
- · 入館者数集計結果一覧
- ·団体見学一覧
- ・関連記事一覧
- ・寄贈図書一覧
- ·館内配置図

2023 年度の主な活動一覧

期間	主な活動
2023年	
6月3日~7月29日	大阪大学総合学術博物館 第 24 回企画展「石濵純太郎展 なにわ町人学者の東洋学」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学大学院人文学研究科 協力:大阪大学附属図書館、大阪大学外国語学部、大阪大学文学部、一般財団法人懐徳堂記念会 会場:大阪大学総合学術博物館待兼山修学館)
6月3日	特別展関連イベント ミュージアムレクチャー「石濵シューレ("石濵学派")に集った東洋言語学者たち」を開催した。(講師:長田 俊樹氏(総合地球環境学研究所名誉教授)会場: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
6月10日	特別展関連イベント ミュージアムレクチャー「石濵文庫の調査と研究 ―展示の見どころ」を開催した。(講師:堤 一昭氏(大阪大学人文学研究科教授)会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
6月24日	特別展関連イベント ミュージアムレクチャー「石濵純太郎とネフスキー」を開催した。 (講師:生田 美智子氏(大阪大学言語文化研究科名誉教授)会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
7月1日	特別展関連イベント ミュージアムレクチャー「薬種問屋石濵屋から町人学者、純太郎へ」 を開催した。(講師:石浜 紅子氏(なにわの海の時空館 元館長 石濵 純太郎ご令孫)会場: 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
8月22日	体験! こどもミュージアム@大阪大学「超低温の世界~いろんなものを冷やしてみよう~」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 講師:辻野 博文 (大阪大学ミュージアム・リンクス准教授) 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
8月23日	体験!こどもミュージアム@大阪大学「スーパーボールロケット・信号反応」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 講師:十河 秀敏氏(箕面自由学園・教育顧問) 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室)
8月24日	体験! こどもミュージアム@大阪大学「偏光で調べる光のふしぎ」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、株式会社新興出版社啓林館 後援:豊中市教育委員会 池田市教育委員会、箕面市教育委員会 講師:宮久保 圭祐(大阪大学ミュージアム・リンクス准教授)会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
8月28日~9月4日	大阪大学美術部 夏部展 2023 「一境一」を開催した。(主催:大阪大学美術部 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
9月9日	シンポジウム「"大阪的"って何?水辺から考えるアート・大阪・大阪暮らし」を開催した。 (主催:大阪大学総合学術博物館、(一財) 大阪市コミュニティ協会) 共催:(公社) 上方落 語協会 登壇者:基調講演『大阪的 - 意匠論』井上 章一氏(国際日本文化研究センター 所長) 「おおさか」の水辺・過去~現在~未来①浪花百景「幕末の水辺に迷い込む」橋爪 節也氏(大阪大学名誉教授)、波瀬山 祥子(大阪大学総合学術博物館研究支援推進員)②変化する水辺「明治・大正・昭和」 船越 幹央(大阪大学総合学術博物館副館長)パネルディスカッション『コミュニティを旅するように』井上 章一氏、笑福亭 仁智氏(公益社団法人 上方落語協会 会長)、橋爪 節也氏、船越 幹央、波瀬山 祥子(司会・進行) 堀 久仁子氏((一財) 大阪市コミュニティ協会 都市コミュニティ研究室 室長代理) 会場:フェスティバルタワー・ウエスト4階中之島会館)
10月14日~11月19日	大阪大学総合学術博物館・豊中市連携事業 中之島芸術センター開館記念 第18回特別展「豊中市所蔵 京・大坂 日本絵画の精華 ~花鳥画の名品から俳画の珍品 まで~」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター、豊 中市 協力:大阪大学大学院人文学研究科 会場:大阪大学中之島芸術センター 展示室(中 之島センター 4 階、豊中市立文化芸術センター 特別展示室)

期間	主な活動
10月25日~2月17日	大阪大学総合学術博物館 第 25 回企画展「ちんどん屋 宣伝·広告に活きるハブ芸能(集積・中継・交流)」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学中之島芸術センター協力:大阪大学大学院人文学研究科、(有) 東西屋 ちんどん通信社 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
10月26日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有)東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:石橋商店街付近)
10月28日	合同出版記念対談「具体研究の未来」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 協力: 大阪大学出版会、思文閣出版 会場:大阪大学中之島センター(登壇者:尾崎 信一郎氏(鳥 取県立美術館館長、加藤 瑞穂(大阪大学総合学術博物館招へい准教授)
11月13日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有)東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:中之島周辺
11月16日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社によるギャラリートーク」を開催した。 解説:林 幸治郎氏(ちんどん通信社) 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
11月25日	「2023~繋げる・拡げる~ わくわく学習教室 with Osaka University」を開催した。(主催:株式会社新興出版社啓林館、大阪大学総合学術博物館 後援:豊中市教育委員会、池田市教育委員会、箕面市教育委員会 ①粉末粘土で電球に明かりをつけよう ~ STEAM 教育 [スティームきょういく] を体験 [たいけん] しよう~講師:萩原 憲二氏(大阪青山大学 子ども教育学部子ども教育学科教授)②ホタルの光 [ひかり] のひみつ講師:豊田 二郎(大阪大学ミュージアム・リンクス准教授)会場:大学総合学術博物館 待兼山修学館 3 階セミナー室)
11月28日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有)東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:箕面駅周辺)
12月9日~12月16日	大阪大学総合学術博物館・豊中市教育センター コラボレーション企画「豊中市立学校 理科展 サテライト展示」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市教育委員会/豊中市教育センター 後援:豊中市 会場:大学総合学術博物館 待兼山修学館 3階セミナー室)
12月11日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社によるギャラリートーク」を開催した。 解説:林 幸治郎氏(ちんどん通信社) 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
12月18日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有)東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:川西能勢口駅周辺)
2024年	
1月8日~1月26日	豊中市立郷土資料館開館 1 周年記念事業 豊中市立郷土資料館 巡回展「庄内式土器〜豊中で発見された卑弥呼の時代の土器〜」を開催した。(主催:豊中市立郷土資料館 共催:大阪大学総合学術博物館、大阪大学埋蔵文化財調査室 会場:大阪大学会館 3 階 歴史展示室)
1月20日	サイエンスカフェ@公民館 No.172「洛中洛外図屏風でみる人と水辺の風景:水の教材を使って楽しく学ぼう!」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 豊中市立中央公民館 講師:堀 さやか氏(大阪大学工学研究科助教)会場:豊中市立蛍池公民館)
1月27日	サイエンスカフェ@公民館 No.173「新しい育種技術:ゲノム編集ってなんだろう」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 豊中市立中央公民館 講師:安本 周平氏(大阪大学工学研究科助教) 会場:庄内公民館)
2月3日	サイエンスカフェ@公民館 No.174「中東の空と飛行機」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 豊中市立中央公民館 講師:近藤 久美子氏(大阪大学人文学研究科教授) 会場:庄内公民館)
2月8日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有)東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:池田駅周辺)

期間	主な活動
2月10日	サイエンスカフェ@公民館 No.175「街を歩けば歴史が見える-大阪市内のフィールドワークから-」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市立中央公民館 講師船越 幹央(大阪大学総合学術博物館副館長)会場:庄内公民館)
2月15日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社によるギャラリートーク」を開催した。 解説:林 幸治郎氏(ちんどん通信社) 会場:大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館)
2月15日	企画展関連イベント 「ちんどん通信社のまちまわり」を開催した。 ((有) 東西屋 ちんどん通信社 まちまわり会場:石橋阪大前駅周辺)
2月24日	サイエンスカフェ@公民館 No.176「生物はどのようにして『季節』を感じ取っているのか? を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市立中央公民館 講師:長谷語 政治氏(大阪大学理学研究科助教)会場:庄内公民館)
3月2日	サイエンスカフェ@公民館 No.177「毛をつくる幹細胞の発生起源を知る」を開催した。(国権:大阪大学総合学術博物館 共催:豊中市立中央公民館 講師:森田 梨津子氏(大阪大学生命機能研究科准教授)会場:庄内公民館)
3月4日~3月31日	「浪花百景×未来景 アートでつむぐ OSAKA 展」を開催した。(主催:大阪大学総合学領博物館、(一財)大阪市コミュニティ協会、専門学校 大阪デザイナー・アカデミー、株式会社シンカ・コミュニケーションズ、ジュンク堂書店大阪本店 会場:ジュンク堂書店 大阪本店 3階 特設会場)
3月20日	浪花百景×未来景 アートでつむぐ OSAKA 展関連イベント「小さなワークショップ「大阪百景×未来景」」を開催した。(主催:大阪大学総合学術博物館、(一財) 大阪市コミュニティ協会、専門学校 大阪デザイナー・アカデミー、株式会社シンカ・コミュニケーションズ、ジンク堂書店大阪本店 案内人:橋爪 節也氏 (大阪大学名誉教授)・船越 幹央 (大阪大学名合学術博物館副館長) 会場:ジュンク堂書店 大阪本店 3階 特設会場)

入館者数集計結果一覧

· 2023 年度 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 入館者数

第24回企画展

会 期:6月3日(土)~7月29日(土)

入館者数: 2,513 人

第25回企画展

会 期:10月25日(水)~2024年2月17日(土)

入館者数:5,105人

休館日:日曜・祝日

但し、下記の日は開館

4月30日(日)、11月3日(金)、11月5日(日)

夏季休業

8月11日(金)~8月16日(水)

年末年始休業

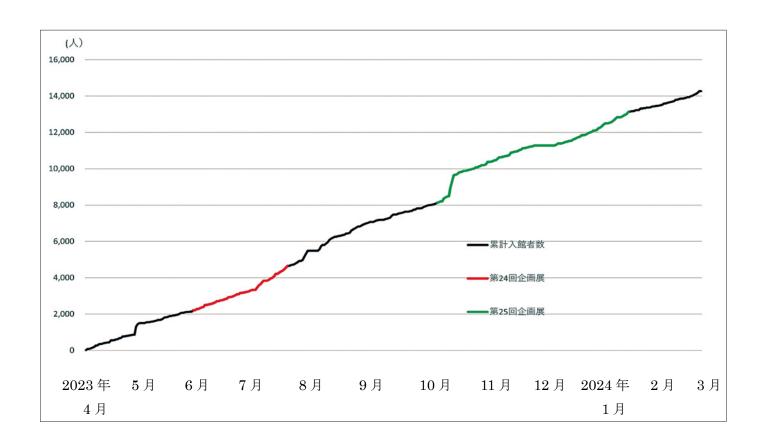
12月26日(火)~2024年1月4日(木)

メンテナンス休館

12月25日(月)、2024年2月29日(木)

	入館者数
2023 年 4 月	1,311
5 月	804
6 月	979
7月	1,599
8月	1,660
9月	1,121
10 月	948
11 月	2,048
12 月	814
2024年1月	981
2 月	1,101
3月	905
合計	14,271

(単位:人)



団体見学一覧

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
2023年	Ē				
1	4月15日	土	大阪大学理学部化学科 新入生研修会	80	宮久保
2	4月20日	木	伊丹市文化財ボランティアの会	13	
3	4月30日	日	埋蔵文化財調査室 豊中キャンパス遺跡ツアー	46	
4	5月1日	月	埋蔵文化財調査室 豊中キャンパス遺跡ツアー	30	
5	5月13日	土	関西大学 校友会 川西支部歩こう会	16	
6	5月16日	火	豊中市民カレッジ	50	江口
7	5月17日	水	(川西市) 明峰地区老人クラブ連合会	49	
8	5月26日	金	とよなか歴史と文化の会	20	
9	5月27日	土	NPO 法人大阪府高齢者大学 大阪の史跡探訪科 OB 会	23	
10	6月5日	月	基礎工学部制御工学科 10 期生	24	
11	6月8日	木	国立台湾大学理学部	10	伊藤
12	6月22日	木	とよなか・歴史と文化の会	18	
13	6月28日	水	大阪青陵高等学校	30	
14	7月7日	金	南開大学夏季短期日本留学生	13	豊田
15	7月11日	火	立命館高校(KSA、阪大職員含む(大阪大学院生命機能研究科)・セミナー室も利用	38	
16	7月11日	火	AKK 文化学院	17	
17	7月12日	水	兵庫県立国際高等学校	112	
18	7月13日	木	日本東旭国際交流センター(東旭 08KK-230712NJ)	46	
19	7月14日	金	日本東旭国際交流センター(東旭 08KK-230713NJ)	43	
20	7月14日	金	日本東旭国際交流センター(東旭 08KK-230711NJ)	45	
21	7月15日	土	市町村アカデミー企画事務同窓会 2023 とよなか	16	
22	7月18日	火	株式会社 JRT グループ	25	
23	7月18日	火	大阪大学微生物研究所(インドネシア大学・アイルランガ大学から の学生短期受入れ	6	宮久保 (辻野)
24	7月19日	水	日本東旭国際交流センター(東旭 08KK-230718NJ)	45	
25	7月21日	金	University of Twente study tour	22	
26	7月22日	土	日本東旭国際交流センター(東旭 08KK-230716NJ)	39	
27	7月25日	火	住友ゆうすい会	19	伊藤
28	7月27日	木	ピアブリッジ国際学院	30	
29	7月28日	金	ピアブリッジ国際学院	26	
30	8月2日	水	第 26 回 IUPAC 化学熱力学国際会議組織委員会	10	豊田
31	8月21日	月	池田市民間学童 放課後ハウスバンビーノ	18	
32	8月23日	水	Goldnation Indonesia	36	
33	9月5日	火	NPO 法人茨木高齢者の会	62	
34	9月29日	金	福島県立福島工業高等学校 情報電子科	40	
35	9月29日	金	とよなか・歴史と文化の会	21	
36	10月12日	木	島根県立隠岐高等学校	27	
37	10月18日	水	西神歴史クラブ	18	

No.	月日	曜日	団体名	人数	説明館員
38	10月20日	金	大阪府民カレッジ令和5年度五期生	24	
39	10月30日	月	トリアムウドムスックサー高等学校	36	辻野
40	10月30日	月	高知県立安芸高等学校	79	
41	11月8日	水	木更津工業高等専門学校情報工学科第 4 学年	42	
42	11月20日	月	ほわいと保育園 宮山町	37	
43	11月21日	火	在日インドネシア留学生協会大阪奈良支部	19	横田
44	11月25日	土	阪大医短 19期	15	
45	11月29日	水	とよなか健康大学よろこんで会	15	
46	12月1日	金	仙台城南高等学校	37	
47	12月14日	木	神戸市立神港橘高等学校	32	
2024	年				
48	1月15日	月	NPO 法人大阪府高齢者大学校 「宇宙と生命の神秘へ遭遇する科」様	40	
49	1月25日	木	(株) LM 榮輝(エルエムエイキ)	4	
50	1月30日	火	サクラサイエンス「中国科学院近代物理研究所、蘭州大学(中国の 大学生)」	21	
51	1月30日	火	大阪大学中国留学生学友会	25	
52	2月1日	木	ピアブリッジ国際学院	43	
53	2月2日	金	ピアブリッジ国際学院	38	
54	2月2日	金	中国四川省教育文華グループ	23	
55	2月8日	木	ピアブリッジ国際学院	32	
56	2月9日	金	ピアブリッジ国際学院	40	
57	2月21日	水	Goldnation Indonesia	30	
58	3月16日	土	北桜塚自治会	22	
59	3月25日	月	神戸市立新港橘高等学校	12	
60	3月26日	火	福岡県立八幡高等学校	11	船越
61	3月29日	金	摂津市立第一中学校 科学技術部	19	

関連記事一覧

新聞

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載日	曜日	掲載	紙名		ı	内	容
2023	2023年							
1	8月5日	金	朝日新聞	夕刊	マチカネワニ			
2	12月16日	金	読売新聞	夕刊	ちんどん屋展			
3	1月9日	火	産経新聞 草	朝刊	ちんどん屋展			
4	10月31日	火	朝日新聞	夕刊	美術館博物館情報	ちんどん屋展		
2024	2024年							
5	1月4日	金	読売新聞 🤌	夕刊	マチカネワニ			

その他 刊行物

※教員関連の記事は「6. 専任教員活動報告」のそれぞれの教員の項に記載

No.	掲載誌 / 発行	発行日 / 巻 / 号 他	内容
1	手作り新聞 瓦版や/「瓦版や」	2023年6月号No.343	石濵純太郎展
2	手作り新聞 瓦版や/「瓦版や」	2023年7月号 No.344	石濵純太郎展
3	豊中手帖 2023/ 菊田印刷	2023年10月	発掘現場・マチカネワニ骨格模型画像
4	電気学会誌	2023.10 / Vol.143 No.10	顕微鏡 (電子顕微鏡を含む)、電子計算機
5	手作り新聞 瓦版や / 「瓦版や」	2023年11月号No.348	豊中市所蔵品展
6	ともも	No.194 2023 ~ 2024 冬	とももメッセージボード ちんどん屋展
7	手作り新聞 瓦版や/「瓦版や」	2023年12月号No.349	ちんどん屋展
8	手作り新聞 瓦版や/「瓦版や」	2024年1月号No.350	ちんどん屋展
9	令和6年度版教科書 「未来をひらく 小学理科 6」/ 教育出版株式会社	2024年1月20日	マチカネワニの化石の画像 マチカネワニの化石発掘調査風景の画像
10	阪神ハイウェイ / 阪神高速道路株式会社	2024.Spring / vol.233	マチカネワニ
11	第6学年「たのしい理科」/ 大日本図書株式会社	2024年2月	マチカネワニレプリカ画像

インターネット

No.	掲載ホームページ	内容
1	「ほとんど0円大学」/(株)hotozero	常設展示物
2	豊中市公式インスタグラム	マチカネワニの化石
3	「ほとんど0円大学」/(株)hotozero	石濵純太郎展
4	朝日デジタル 8/5~	マチカネワニ
5	ほとんど0円大学 2/6~	ちんどん屋展
6	YouTube 2/16∼	「日本の歴史(英語版)」

ラジオ・テレビ 等

No.	番組名 / 放送局	放送日時	内容
1	Eテレザ・バックヤード / NHK	5月31日	常設展・収蔵庫
2	「歴史探偵」古墳最前線 / NHK	7月26日 8月2日	大阪府野中古墳副葬品(甲冑)
3	ラジオ番組 FM 千里「SENRI ー STREET」FM 千里	7月4日	石濵純太郎展・常設展
	ニュースほっとかんさい「大阪の大学博物館に 」/ NHK		マチカネワニ化石標本 コンピューター
5	ダーウィンが来た!「龍」/ NHK	1月7日	マチカネワニ

寄贈図書一覧

No.	寄贈者	書名	
_	泉佐野市立歴史館いずみさの	11111	
\vdash	北海道北見市教育委員会	歴史通信 いずみさの vol.35	
-	金沢大学資料館	北見 北見	
_	和泉市久保惣記念美術館		
	小樽市総合博物館	和泉市久保惣記念美術館 40 周年記念誌	
	和歌山市立博物館	小樽市総合博物館紀要 第36号	
—		和歌山市史研究 50	
	新修宗像市史編集委員会	新修宗像市史 いくさと人びと 博物館だより 123号	
\vdash	神戸市立博物館		
_	刈谷市歴史博物館 夕麻美術工学 工学院美術(TECTA)	井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書 2023	
-	多摩美術大学 大学院美術研究科	研究誌『Subject'22』	
_	三重県総合博物館	みえんしす 40 号	
	サントリー美術館	サントリー美術館 研究紀要 2023	
-	大阪市立住まいのミュージアム	大阪市立住まいのミュージアム(大阪くらしの今昔館)研究紀要・館報 第20号	
-	芦屋市立美術博物館 日は古人原本はW. G	芦屋市立美術博物館 美博だより 2023.03	
-	尼崎市立歴史博物館	尼崎市立歴史博物館だより 第2号	
	吹田市立博物館	博物館だより 93 号	
\vdash	東北大学総合学術博物館	Omnividens	
_	東京大学総合研究博物館	Ouroboros vol.27	
19	和歌山県立博物館	博物館だより No.28	
20	立命館大学 OIC 総合研究機構 稲盛経営哲学研究センター	RITA vol.18	
21	神戸市立小磯記念美術館	美術館だより vol.58	
22	大山崎町歴史資料館	大山崎町歴史資料館 館報 第28号	
23	太子町立竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歷史資料館 館報 第24号(令和3年度)	
24	九州産業大学美術館	令和 4 年度 InnovateMUSEUM 事業報告書	
25	島本町教育委員会	島本町文化財調査報告書 第 44 集~第 46 集	
26	徳川美術館	葵 No.126	
27	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年4月号	
28	茨木市立文化財資料館	茨木市立文化財資料館 館報 第8号 (令和3年度)	
29	東北大学総合学術博物館	Bulletin of the Tohoku University Museum No.22 2023	
30	茨木市教育委員会	宿久庄遺跡 2	
31	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報 17 - 令和元年度 -	
32	秋田大学大学院国際資源学研究科	鉱業博物館だより 2023 年早春 第 22 号	
33	大阪大谷大学博物館	博物館だより No.134	
34	金沢大学資料館	金沢大学資料館紀要 第 18 号	
35	京都府立丹後郷土資料館	丹後ばらずし	
	大阪城天守閣	大阪城天守閣紀要 第 47 号	
37	益富地学会館	日本地学研究会 会員通信	
38	刈谷市歴史博物館	刈谷市歴史博物館 研究紀要 第3号 令和4年度	
39	国立民族学博物館	しゃべるヒト ことばの不思議を科学する	
40	和泉市久保惣記念美術館	紀要 18	
41	大阪市立住まい情報センター	あんじゅ vol.94	
42	福井県立歴史博物館	福井県立歴史博物館紀要 第15号	
43	九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館研究報告第 20 号	
44	山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学構內遺跡調査研究年報 XV	
45	武庫川女子大学附属総合ミュージアム	武庫川女子大学附属総合ミュージアム 紀要・年報 第3号	
46	北海道大学大学院文学研究院	北海道大学プラス・ミュージアム・プログラム 2022 年度報告書	
47	懐徳堂研究センター	懐徳堂研究 第14号	
48	島本町教育委員会事務局	島本町歴史文化資料館 館報 第14号	
49	立命館だより国際平和ミュージアム	立命館だより国際平和ミュージアムだより vol.30-3 (通巻89号)	

No.	寄贈者	書名		
_	阪急文化財団	阪急文化 第16号		
	吹田市立平和祈念資料館	吹田市立平和祈念資料館だより No.34		
	奈良国立博物館	奈良国立博物館だより 第 125 号		
53	八尾市立歴史民俗資料館			
	吹田市立博物館	八毛巾立座実民俗質付貼		
	笠岡市竹喬美術館	彩雲 笠岡市竹喬美術館友の会会報 No.57		
-	関西大学なにわ大阪研究センター	なにわ大阪研究 第5号		
		武蔵野美術大学美術館・図書館所蔵		
57	武蔵野美術大学	大辻清司アーカイブフィルムコレクション7 太陽の知らなかった時		
58	泉大津市教育委員会	おほつ研究 Vol.14		
59	きょうと視覚文化振興財団	須田記念 視覚の現場 第8号		
60	帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告 XXV		
61	国立科学博物館	ミルシル vol.16		
62	藝文京	藝文京 vol.142		
63	大阪府登録文化財所有者の会	大阪登交会だより第18号		
64	三重県総合博物館	三重県総合博物館資料叢書 No.9		
65	帝京大学	帝京大学総合博物館館報 第5号		
66	大阪古典会	創立 121 周年記念 古典籍善本展観図録		
67	上郡町教育委員会	西野山遺跡 1 確認調查報告書		
68	益富地学会館	益富地学会館 館報 5 月号		
69	宮城ミュージアムアライアンス事務局	見験楽学散歩		
70	三重県総合博物館	親鸞 親鸞と高田本山 専修寺国宝からひろがる世界		
71	東京大学 史料編纂所附属 画像史料解析センター通信	画像史料解析センター通信 第 100 号		
72	新修宗像市史編集委員会	宗像市史研究 第5号		
73	西南学院大学	西南学院大学博物館研究紀要		
74	大阪大学大学院人文学研究科	フィロカリア 第40号		
75	吹田市立博物館	吹田市立博物館 館報 23		
76	和歌山県立博物館	和歌山県立博物館 研究紀要 第29号		
77	和歌山県立博物館	お身代わり仏像製作記録集 2022		
78	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年6月号		
79	金沢大学資料館	金沢大学資料館だより vol.68		
80	金沢大学資料館	金沢大学資料館紀要 第19号		
81	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年7月号		
82	徳川美術館	葵 No.127		
83	大阪大学大学院人文学研究科	フィロカリア 第40号		
84	吹田市立博物館	吹田市立博物館 博物館だより No.94		
85	大阪市立住まい情報センター	あんじゅ Vol.95		
86	福井県立歴史博物館	ふくいミュージアム No.67		
87	国立科学博物館	milsil No.4		
88	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら Vol.29		
89	奈良国立博物館	奈良国立博物館だより 第126号		
90	立命館大学 国際平和ミュージアム	立命館国際平和ミュージアムだより Vol31-1		
91	鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 研究報告 No.19 大隅大崎 神領 10 号墳の研究Ⅲ		
92	たばこと塩の博物館	たばこと塩の博物館 年報 第38号		
93	立命館大学 国際平和ミュージアム	立命館平和研究 第 24 号		
94	姫路科学館	姫路科学館 収蔵資料目録第13号		
95	緒方洪庵記念財団除痘館記念館資料室	除痘館記念資料だより 第16号		
96	滋賀大学経済学部附属史料館	研究紀要 第 56 号		
97	奈良大学博物館	令和5年度企画展「版木と版本」		
98	アジア太平洋研究所	APIR now No.34		
99	柏原市立歴史資料館	柏原の歴史 2		

No.	寄贈者	書名			
\vdash		館報 2023 年 8 月号			
	長野県埋蔵文化財センター	信州の遺跡 第21号			
\vdash		海事博物館研究年報 2022			
	京都市学校歴史博物館	京都市学校歴史博物館 年報 第 24 号			
\vdash		西南学院大学博物館研究叢書 戦争と学院			
105	公益財団法人 藤原ナチュラルヒストリー振興財団	四用子院八子 PP 物			
106	きしわだ自然資料館	きしわだ自然資料館 研究報告 第8号			
107	松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)	真田家旧蔵資料目録 一調度2-			
108	吹田市立博物館	博物館だより No.94			
109	三重県総合博物館情報誌	みえんしす 41号			
110	松戸市立博物館	友の会会報 第134号			
111	吉川弘文館	吉川弘文館の新刊			
112	越谷市教育委員会	海道西遺跡発掘調査報告書 1			
113	八尾市立歴史民俗資料館	館報 令和4年度			
114	九州国立博物館	北斎 日新除魔図の世界			
115	九州国立博物館	沖縄復帰 50 年記念特別展 琉球			
116	九州国立博物館	加耶			
117	九州国立博物館	御所の器			
118	九州国立博物館	特別展 ポンペイ			
119	九州国立博物館	種子島 風と波が育んだ歴史			
120	九州国立博物館	九州国立博物館紀要 東風西声 2022 第18号			
121	九州国立博物館	平成 25-27 年度 九州国立博物館 文化財修理報告			
122	日本地学研究会	地学研究 vol.68			
123	熊本博物館	熊本博物館 館報 No.35 (2022 年度報告)			
124	堺市博物館	堺市博物館研究報告 第 42 号			
125	真田宝物館	真田宝物館企画展図録 昌幸の選択			
126	東京大学史料編纂所	画像史料解析センター通信 第 101 号			
127	国立歴史民俗博物館	令和 5 年度 国立歴史民俗博物館 要覧			
128	京都大学総合博物館	令和 4 年度 京都大学 総合博物館年報			
129	島根大学研究・学術情報本部総合博物館	令和 2.3.4 年度 島根大学研究・学術情報本部総合博物館 年報			
130	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年9月号			
131	国立科学博物館	milsil vol.16 2023 No.5			
132	徳川美術館	AOI No.128			
133	仙台市博物館	仙台市博物館調査研究報告 第 43 号			
134	秋田大学大学院国際資源学研究科 附属鉱業博物館	鉱業博物館だより 第23号			
135	杉本梁江堂	杉本梁江堂版画目録			
136	武田科学振興財団 杏雨書屋	杏雨			
137	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年10月号			
138	国立民族学博物館	特別展「交感する神と人-ヒンドゥー神像の世界」図録			
139	日本博物館協会	博物館研究 vol.58			
140	神奈川県立 生命の星・地球博物館	神奈川県立 生命の星・地球博物館 年報 第28号 (2022年度)			
141	神奈川県立 生命の星・地球博物館	自然科学のとびら vol.29			
142	大阪大谷大学博物館	博物館だより 令和5年度秋季特別展			
143	大阪市立住まい情報センター	あんじゅ vol.96			
144	吹田市立博物館	博物館だより No.95			
145	奈良大学博物館	富山市・長松山本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の世界 II - 描かれたものがたり -			
\vdash	尼崎市立歴史博物館	尼崎市立歴史博物館だより No.3			
\vdash	福井県立歴史博物館	ふくいミュージアム No.68			
-	奈良国立博物館	奈良国立博物館だより 第127号			
149	富山県立山博物館	人と自然の情報交流誌 たてはく			

150 大東川水下大学用製能合ミュージアム 近代のきものがみた夢 入え入しり 20分 大坂は大学間 大田 20分 大阪は大学間 大田 20分 大田	No.		書名	
151 三重基合体轉動館			11.11	
152 大阪東大学院 特別展 トガの家歌 特別展 トガの家歌 153 3.1 > 化度変え化熱現財団 新田記念 税変の必需 第9 号 155 マンエ大学体制の第 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学総合研究情物館 大田大学を会研究情物館 五州大学総合研究情物館 五州大学総合研究情物館 五州大学総合研究情物館 五州大学総合研究情物館 五州大学総合研究情物館 五州大学総会研究情物館 五川大学を会研究情物館 五川大学を会研究情物館 五川大学を会研究情物館 五川大学を会研究情物館 五川大学を会研究情報 50 回 0 三大学を 158 0 三大学 158 0 三大学 158 0 三大学を 159				
153 きょうと配党文化振興財育 独田記念 製造の現場 第9 中 実情能だより vol.59 大川大学総合研究博物館 大州大学総合研究博物館 大州大学総合研究博物館 大州大学総合研究博物館 大州大学総合研究特別 日本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 田本版学研究会 会員報館 第2 号 会話 全正大学 田家市区が旧辺里子文学館 田家市公学研究学 田家市公学研究学 日本版学研究会 会員報度 日本版学研究会 会員報度 日本版学研究会 会員報度 日本版学会館 第6 元 全面表 日本版学会館 第6 元 全面表 日本版学会館 第6 元 全面表 日本版学会 会員 会員 日本版学会 会員 会員 日本版学会 会員 会員 会員 会員 会員 会員 会員				
持戸市立小磯記念美術館	-	,	10.0000	
155 カルス学能合研究所	\vdash			
156				
157 日本地学研究会 日本地学研究会 会員適信 第2号 電気学会 電気学会 電気学会 電気学会 で記しまい。 日本	-			
158 電気学会 電気学会 電気学会誌 vol.143 No.10				
150 大政韓龍女子大学 開館 15 年記を田辺単子文学館 日の 四面大学博物館 SENNYO No.87 公正大学 第51 回应测度 古今音本150 選 乌本町教育委員会 乌本町教育委員会 乌本町文学及 公式 No.27 日の 和泉市久保管記念美術館 特別展 深遠 物池の風社 銀元・伊勢・西行 初級山県立自然博物館 和黎山県立自然博物館 新銀 学和 年末 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日の 日				
161 盆宮地学会館	\vdash			
益言池学会館 益言池学会館 報言池学会館 報記 2023 年 11 月号 2023 3 No 2 3 正大学 立正大学 立正大学 立正大学 立正大学 立正大学 立正大学 立正大学 20 23 No 2 3 に大学 第51 回企画展 古今音本 150 連 3 に大学 3 に				
162 立正大学				
164 点本可教育委員会 場本可文化財調金報告書 第 37 集、第 47 集、第 48 集 165 学習院大学 学芸員 2023 No.27 166 和泉市人保徳記念美術館 特別展 宗遠 物語の風景 源氏・伊勢・西行 67 68 人民企立大学大学史管料室 バハレーン 西南アジア文明世界を結んだアラビア湾の小島 168 大阪企立大学大学史管料室 大阪企立大学大学史管 第 25 17 18 大阪企立大学大学史管列 第 25 17 18 大阪企立大学大学史管列 第 25 18 18 19 19 19 19 19 19	\vdash			
161 島本町教育委員会	-			
166 早間底大学 早芸貝 2023 No.27				
166 和泉市久保惣記念美術館	\vdash			
168 大阪公立大学大学支育等				
168 大阪公立大学大学史資料室				
168 和歌山県立自然博物館				
170 和歌山県立自然博物館 自然博物館だより Vol.41 No.3 第 41 回特別展 進め ! けものみち探検隊 解説書 探検手帳 第 41 回特別展 進め ! けものみち探検隊 解説書 探検手帳 関西学院大学博物館 生誕 120 周年 田中忠雄展 寿岳文章展 四書幹と大学博物館 方田 安岳文章展 四書幹と大学博物館 安岳文章展 四書料学博物館 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大地崎町歴史資料館 記憶のなかの西観音寺・建立から廃仏敷釈まで - 177 次日市立博物館 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂野みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大坂野みを描く 具春から孔寅・芳園へ 大地崎町歴史資料館 記憶のなかの西観音寺・建立から廃仏敷釈まで - 179 八戸市博物館 立命館大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号) 181 立命館大学国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号) 182 東京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史科解书センター通信 第 102 号 神戸 STS 研究会 姫路科学館 成園 田刺姫路高等学校 コレクション物理実験機器 資料 経宮地学会館 館報 2023 年 12 月 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とごとも 市は物館・学だより第 9 号 西宮市立郷土資料館 西田市連郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西田市連郷土資料館 西田市連郷土資料館 西田市連郷土資料館 西田市連郷土資料館 西田市連郷土資料館 西田市連郷土資本教館 西田市連郷土資本教館 西田市連郷土資本教館 西田市連郷土資本教育と手報館 古野本学校教員たちの様写と手習い 自然科学のとびら vol.29 No.4 AOI No.129 西田市連郷主教館 今和 5 年度 自成・新院 29 No.4 AOI No.132 全租土財館 台和 4 年度 台和 5 年度 全面展 初代伊藤忠兵衛没後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 日本日本学教館 日本日本学校教員上市政部・日本学校教員上市政部・日本学校教員上市政部・日本学校教員上市政部・日本学校教員上市政部・日本学校教員上市政部・日本学校教員上市立郷土産事を開からままり、 pol.13	\vdash			
171 和歌山県立自然博物館 第 41 回特別展 進め!けものみち探検隊 解説書 探検手帳 生誕 120 関年 田中忠雄展 生誕 120 関年 田中忠雄展 東岳文章展 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立科学博物館 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大田田 田立教学を大坂好みを描く 県春から孔寅・芳岡へ 元戸市博物館 大坂好みを描く 県春から孔寅・芳岡へ 元戸市博物館 JMODE 縄文の流儀 田市立歴史民俗教料館 一つの名称大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号) 田志を歴史民俗教料館 中の名称大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号) 田志を歴史民俗教料館 東京大学史料編集所附属 画像史料像ヤンター通信 第 102 号 東京大学史料編集所附属 画像史料像ヤンター通信 第 102 号 北戸 STS 研究会 姫路科学館収蔵 旧制姫路高等学校コレクション物理実験機器 資料 益宮地学会館 緑物館とこども 博物館とこども 博物館におけることも向け教育普及事業をテーマとしたオンライントーク報告書 2 まかい利品の社 学芸だより第9 号 西宮市立郷土資料館 日々是探光・京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 自然科学のとびら vol.29, No.4 日々是探光・京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 自然科学のとびら vol.29, No.4 日々日本学のとびら vol.29, No.4 日々日本学のとびら vol.29, No.4 日々日本学のとびら vol.29, No.4 日々日本学の経済学部附属史料館 白木 4年度 和代伊藤忠氏衛设後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 大阪歴史博物館 女和 4年度 和邦県立著共歴史博物館 台和 4年度 和邦県立著共歴史博物館 台和 4年度 和邦県立著共歴史博物館 台和 4年度 日本日本学の経済学部附属史料館 台和 5年度 中別展 初代伊藤忠氏衛设後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 大阪歴史博物館 日本日本学 中初 日本日本学 中和 4年度 日本日本学 中初 日本学 中和 4年度 日本日本学 中初 日本日本学 中初 日本学 中初 日本学 中初 日本学 中初 日本学 中和 4年度 日本学 日本学 中が 日本学 日本学 中が 日本学 中が 日本学 中が 日本学				
172 関西学院大学博物館	-			
77 関西学院大学博物館				
174 国立科学博物館				
175 局根県芸術文化センター			寿岳文章展	
T76 阪急文化財団 阪急文化研究年報 第12号 177 吹田市立博物館 大坂好みを描く 呉春から孔寅・芳園へ 178 大山崎町歴史資料館 記憶のなかの西観音寺-建立から廃仏毀釈まで- 179 八戸市博物館 J-MODE 縄文の流儀 180 池田市立歴史民俗資料館 令和5年度特別展 池田のたからもの 181 立命館大学国際平和ミュージアム 立命館大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻91号) 182 東京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第102号 183 神戸 STS 研究会 姫路科学館収蔵 旧制姫路高等学校プレクション物理実験機器 資料 184 益富地学会館 益富地学会館 雄報 2023年12月 185 国立民族学博物館 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館学芸課 さかい利晶の杜 学芸だより第9号 787 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館第38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 188 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 日々是探究・京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 今和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後120年特別展初代忠兵衛と事業経営 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 館報 令和4年度 館報 令和4年度 館報 令和4年度 館報 年記者狭歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和5年度対照 近代若狭観光史 一方本辞歴史博物館 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和5年度時別展 近代若狭観光史 大阪西立若狭歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和5年度時別展 近代若狭観光史 元代若狭観光史 一方本市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゆ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報			milsil No.6	
大坂好みを描く 具春から孔寅・芳園へ 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	\vdash			
178 大山崎町歴史資料館 記憶のなかの西観音寺 - 建立から廃仏毀釈まで - 179 八戸市博物館 J-MODE 縄文の流儀	176	阪急文化財団		
179 八戸市博物館 J-MODE 縄文の流儀 2015年度特別展 池田市立歴史民俗資料館 令和5年度特別展 池田のたからもの 立命館大学国際平和ミュージアム 立命館大学 国際平和ミュージアム 立命館大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号) 182 東京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 据 北京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 北京大学史料編纂所 正京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 北京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 北京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 北京地学会館 短部単学会館 面報 2023 年 12 月 地物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 西宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 国宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 日本是探究一京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 自然科学のとびら vol.29, No.4 自然科学のとびら vol.29, No.4 自然科学のとびら vol.29, No.4 自然科学のとびら vol.29, No.4 191 真田宝物館 今和5年度画展 初代伊藤忠兵衛没後 120年特別展 初代忠兵衛と事業経営 今和5年度市政館 今和5年度市政館 令和4年度 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館 方和4年度 日本 1年度 日本 1年	177	吹田市立博物館	大坂好みを描く 呉春から孔寅・芳園へ	
180 池田市立歴史民俗資料館			記憶のなかの西観音寺-建立から廃仏毀釈まで-	
181 立命館大学国際平和ミュージアム 立命館大学 国際平和ミュージアムだより vol.31.2 (通巻 91 号) 182 東京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第 102 号 旅路科学館収蔵 旧制姫路高等学校コレクション物理実験機器 資料 では、	179	八戸市博物館	J-MODE 縄文の流儀	
182 東京大学史料編纂所 東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第102 号 183 神戸 STS 研究会 姫路科学館収蔵 旧制姫路高等学校コレクション物理実験機器 資料 2023 年 12 月 185 国立民族学博物館 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館と当けることも向け教育普及事業をテーマとしたオンライントーク報告書 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	180	池田市立歴史民俗資料館	令和5年度特別展 池田のたからもの	
183 神戸 STS 研究会	181	立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学 国際平和ミュージアムだより vol.31-2 (通巻 91 号)	
益富地学会館 益富地学会館 館報 2023 年 12 月 185 国立民族学博物館 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とまま さかい利晶の杜 学芸だより第9号 187 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館 日々是探究一京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 令和5年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和5年度 西宮・東経営 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 6和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 方年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津西歴史博物館 大東歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 子菜 日本	182	東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第102号	
博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館とこども 博物館におけるこども向け教育普及事業をテーマとしたオンライントーク報告書 2 186 堺市博物館学芸課 さかい利晶の杜 学芸だより第9号 187 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 188 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 日々是探究一京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	183	神戸 STS 研究会	姫路科学館収蔵 旧制姫路高等学校コレクション物理実験機器 資料	
180 国立氏族字博物館 博物館におけるこども向け教育普及事業をテーマとしたオンライントーク報告書 2 186 堺市博物館学芸課 さかい利晶の杜 学芸だより第9号 西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展 188 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 日々是探究一京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 令和 5 年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和 5 年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和 4 年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和 4 年度 195 福井県立若狭歴史博物館 6和 5 年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 年報	184	益富地学会館	益富地学会館 館報 2023年12月	
西宮市立郷土資料館 西宮市立郷土資料館第 38 回特別展展示図録 高畑町遺跡展	185	国立民族学博物館	博物館とこども 博物館におけるこども向け教育普及事業をテーマとしたオンライントーク報告書 2	
188 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 日々是探究―京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い 189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 令和5年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 191 真田宝物館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後 120年特別展 初代忠兵衛と事業経営 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 五東総合博物館 五東総合 100	186	堺市博物館学芸課	さかい利晶の杜 学芸だより第9号	
189 神奈川県立生命の星・地球博物館 自然科学のとびら vol.29, No.4 190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 令和 5 年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 令和 5 年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後 120 年特別展 初代忠兵衛と事業経営 192 滋賀大学経済学部附属史料館 大阪歴史博物館年報 令和 4 年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和 4 年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和 5 年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43 号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	187	西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館第38回特別展展示図録 高畑町遺跡展	
190 徳川美術館 AOI No.129 191 真田宝物館 令和5年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後120年特別展初代忠兵衛と事業経営 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	188	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	日々是探究-京都高等工芸学校教員たちの模写と手習い	
191 真田宝物館 令和5年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家 192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後120年特別展初代忠兵衛と事業経営 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度特別展近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	189	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら vol.29, No.4	
192 滋賀大学経済学部附属史料館 令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後120年特別展初代忠兵衛と事業経営 大阪歴史博物館 193 大阪歴史博物館 大阪歴史博物館年報 令和4年度 194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和4年度 195 福井県立若狭歴史博物館 今和5年度特別展近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センターあんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	190	徳川美術館	AOI No.129	
193 大阪歴史博物館 194 福井県立若狭歴史博物館 195 福井県立若狭歴史博物館 196 大津市歴史博物館 197 大阪市立住まい情報センター 198 三重県総合博物館 199 三重県総合博物館 199 三重県総合博物館	191	真田宝物館	令和5年真田宝物館特別展 真田家と宇和島潘伊達家	
194 福井県立若狭歴史博物館 館報 令和 4 年度 195 福井県立若狭歴史博物館 令和 5 年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43 号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	192	滋賀大学経済学部附属史料館	令和5年度企画展 初代伊藤忠兵衛没後120年特別展初代忠兵衛と事業経営	
195 福井県立若狭歴史博物館 令和5年度特別展 近代若狭観光史 196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	193	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報 令和4年度	
196 大津市歴史博物館 大津歴博だより No.132 197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43 号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	194	福井県立若狭歴史博物館	館報 令和4年度	
197 大阪市立住まい情報センター あんじゅ Vol.97 198 三重県総合博物館 みえしんす 43 号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	195	福井県立若狭歴史博物館	令和5年度特別展 近代若狭観光史	
198 三重県総合博物館 みえしんす 43 号 199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	196	大津市歴史博物館	大津歴博だより No.132	
199 三重県総合博物館 三重県総合博物館 年報	197	大阪市立住まい情報センター	あんじゅ Vol.97	
	198	三重県総合博物館	みえしんす 43号	
000 一毛用奶人磨脆的 自011.7 0到 202.1	199	三重県総合博物館	三重県総合博物館 年報	
200 二里県総合博物館 鳥のひみつ調べ豚!	200	三重県総合博物館	鳥のひみつ調べ隊!	

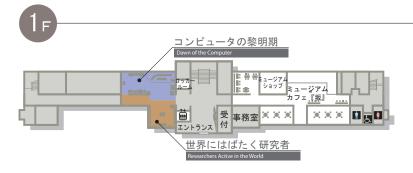
No.	寄贈者	書名		
	南山大学人類学博物館			
	東北大学総合学術博物館	東北大学総合学術博物館ニュースレター Omnividens No.69		
	益富地学会館	本記人子和2017 10.009		
204	たばこと塩の博物館	特別展 芥川龍之介がみた江戸・東京		
	国立科学博物館	村加展 介川龍之介がみた江戸・米京 milsil vol.17		
	益富地学会館			
207	泰川堂書店	令和5年度泰川堂書店目録		
208	神戸市立博物館	博物館だより No.124		
209	安土堂書店	 安土堂和洋古書目など古書目録		
210	日本地学研究会	地学研究 vol.68		
211	京都大学総合博物館	京都大学総合博物館ニュースレター No.59		
212	奈良国立博物館	奈良国立博物館だより 第 128 号		
213	北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 第 47 号		
214	本巣市教育委員会	岐阜県本巣市史跡舶来山古墳群 こども学芸員活動通信 6.7		
215	奈良大学博物館	令和 5 年度企画展 幻の大陸日本語文学 池田克己とその時代 II		
216	松原市民ふるさとぴあプラザ	令和5年度特別展 丹南潘 誕生四百年		
217	八戸市博物館	八戸市博物館 博物館だより No.65		
218	島本町立歴史文化資料館	島本町立歴史文化資料館 館報第15号		
219	佐賀モバイル・アカデミー・オブ・ アート事務局	耳で聴くアート SMAART2023 年度記録集		
220	東京藝術大学美術学部	令和5年度東京藝術大学卒業・修了製作作品集		
221	根津美術館	根津美術館紀要 此君 第14号		
222	根津美術館	根津美術館新蔵品選 漆工		
223	根津美術館	根津美術館新蔵品選 書蹟		
224	根津美術館	海をこえて、今ここに-西田コレクションのうつわ-		
225	同志社大学歷史資料館	上京遺跡・新町校地遺跡発掘調査報告書 - 同志社大学新創館建替え工事に伴う発掘調査 -		
226	八尾市立歴史民俗資料館	八尾市域の史的研究		
227	金沢大学資料館	金沢大学 資料館だより Vol.69		
228	一般財団法人 アジア太平洋研究所	APIR NOW No.36		
229	武蔵野美術大学美術館・図書館	生誕 100 年大辻清司 眼差しのその先 フォトアーカイブの新たな視座		
230	長野県埋蔵文化財センター	沢尻東原遺跡 北沢東工場適地の開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書		
231	長野県埋蔵文化財センター	信州の遺跡 第22号		
232	学校法人 中村産業学園 九州産業大学美術館	高齢者をつなぐ美術館と医療・福祉施設、行政機関、公民館、他の博物館との連携 事業事業報告書		
233	和歌山県立博物館	法燈国師		
234	住まいのミュージアム 大阪くらし今昔館	研究紀要·館報 21 令和 4 年度		
235	同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館 館報 第26号		
236	秋田大学大学院国際資源学研究科 附属鉱業博物館	鉱業博物館だより 第24号		
237	大阪公立大学研究推進機構	盛田嘉徳文庫目録(5)		
238	益富地学会館	益富地学会館 館報 2024年3月号		
239	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	移民と和歌山 2023 記憶と遺物の継承~過去から現在、そして未来へ~		
240	和歌山大学紀州経済史文化史研究所	紀州経済史文化史研究所紀要 第 44 号		
241	福井県立歴史博物館	描かれた川と人々 越前・若狭の利水の歴史		
242	北見市教育委員会	北見博物館研究報告 第5号		
243	国立科学博物館	milsil vol.17		
244	東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第103号		
245	立命館大学国際平和ミュージアム	立命館大学国際平和ミュージアムだより Vol31-3		



→ 大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館 M

「知」を軸に人・モノ・情報が出会い、交流し、新たな「知」の創造を目指す。

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館のご案内



コンピュータの黎明期 Dawn of the Computer

阪大では、第二次世界大戦後まもなく真空管式コンピ ュータの研究と試作を始めました。その当時誕生し たばかりの真空管式コンピュータと、時代の先駆を 担った研究者たちを紹介しています。

世界にはばたく研究者 Researchers Active in the World

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹が、中間子論を 着想した大阪大学物理学教室。当時、日本の科学の中 心といわれた理学部の自由な研究環境、そこに関わり のある様々な研究者を紹介しています。

ミュージアムカフェ「坂」 Museum Café「SAKA」



みる科学 Visible Science

光学顕微鏡、電子顕微鏡、超高圧電子顕微鏡のしくみ や、細胞より小さい分子の構造や、仕組みを明らかに するX線構造解析などの技術と、それらを利用した研 究の一端を紹介しています。

大阪大学の系譜 Roots of Osaka University

かつての懐徳堂、適塾といった大坂市民の学問からの 流れを継承し、今日まで受け継がれてきた大阪大 学。その学問や研究活動と、社会との関わりの歴史を 紹介しています。



待兼山に学ぶ Learning from Machikaneyama

阪大豊中キャンパスが位置する待兼山。古代の生物 や、地形の変遷から、現在の豊かな自然の中で棲息す る生き物の営みまで、地域に根ざしその変化を解明す る研究を紹介しています。



自然教室&ルーフテラス Nature Learning Room

阪大キャンパスは豊中、吹田共に自然がいっぱいで す。自然教室内に設置されたPCでは「阪大キャンパ スに咲く花」を検索することができます。また、ル 一フテラスに出れば背後の待兼山の息吹を感じること ができます。

Museum of Osaka University

大阪大学総合学術博物館 年報 2023

2025年2月発行

編集·発行 大阪大学総合学術博物館 〒 560-0043 豊中市待兼山町 1 - 13

印 刷 株式会社 シンメイ社 〒 544-0034 大阪市生野区桃谷 5 - 11 - 23

表紙デザイン 辻村紀子 (アトリエツジムラ)

